

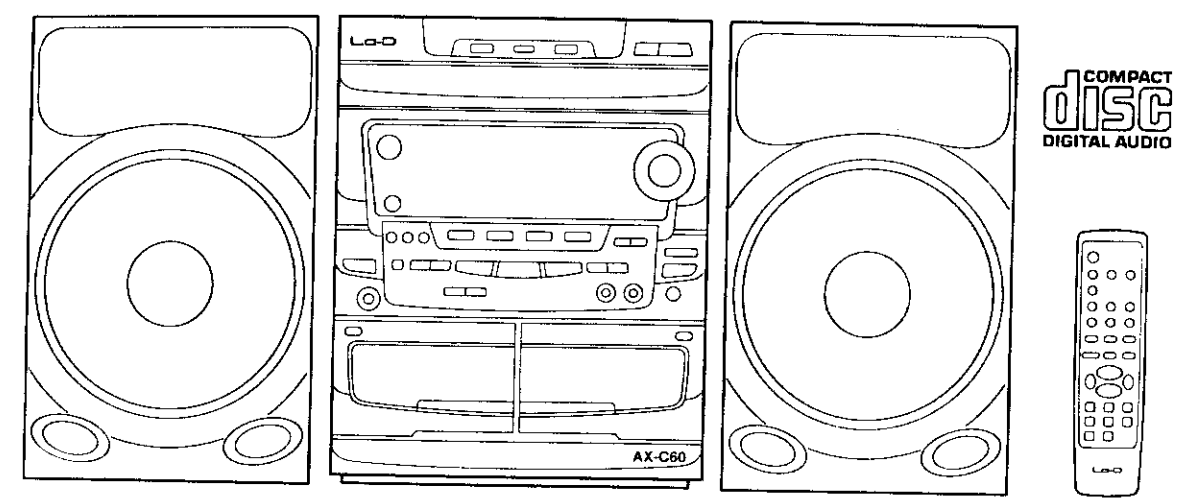
取扱説明書

HITACHI
— 品質を大切にする(技術の日立) —



日立CDステレオシステム AX-C60形

このたびは、日立CDステレオシステムをお求めいただきまことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は保証書、ご相談窓口一覧表と共にいつでも見られる所に大切に保管してください。

Lo-D



この取扱説明書の見かた

- 目次は **2** ページをご覧ください。
- 主な操作は  右側についている耳でさがせます。
-  マーク付きの操作は リモコンでも操作できます。
- 接続のしかたは **9** ~ **11** ページをご覧ください。

お客様メモ：サービスを依頼される時、お役に立ちます。

購入店名： _____ 電話 _____

ご購入年月日： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

—メモ—

◎株式会社 日立製作所
〒105 東京都港区西新橋2-15-12
TEL (03) 3502-2111

目次

	ページ
は じ め に	安全上のご注意 (必ずお読みください) 3~6
	一般的なご注意 7
	特長 8
	接続のしかた 9~11
	スピーカー・外部機器との接続・アンテナの接続・AMループアンテナについて
	各部の名称 12~15
	本体前面・ディスプレイ・本体後面・リモコン
	現在時刻の合わせかた 16~17
	操作をする前に 18~21
	電源ボタンについて・入力切り換えのしかた・オートファンクション機能について・音量調節のしかた・音質調節のしかた・キャラクターディスプレイについて・重低音の効いた迫力のある音で聴くには・高音を強調させて聴くには・音を一時的に消すには・デモモードについて・ヘッドホンでお聴きになるときは
C D 演 奏	コンパクトディスクについて 22
	CD演奏 23~26
	ディスクナンバー1の1曲目から演奏を始めるには
	CD演奏の便利な使いかた 27~31
	好きなディスクから演奏を始めるには ディスクダイレクト演奏 ・好きな曲から演奏を始めるには ダイレクト演奏 ・演奏中にすばやく好きなところをさがすには マニュアルサーチ ・演奏中に好きな曲へ飛ぶには スキップ演奏 ・好きな曲を選び好きな順番で演奏するには プログラム演奏 ・自動的に曲順を並べ変えて演奏するには ランダムプレイ ・くり返し演奏するには リピート演奏
	放送の受信 32~35
	放送の受信・プリセットのしかた・プリセット選局
	再生・録音を始める前に 36~39
	カセットテープの入れかた・カセットテープの取り出しかた・カセットテープについて・TAPE A/TAPE Bの切り換えについて・走行方向について・テープ走行モードについて・テープカウンターについて・著作権について
	テープ再生 40
再生してみましょう・TAPE A、TAPE Bを連続して再生するには テープリレー再生	
テープ 録音	テープ録音 41~42
	録音してみましょう
	録音の便利な使いかた 43
ワンタッチでディスクを録音するには CDシンクロ録音	
マイク ミキ ング	ダビングのしかた 44
	マイクミキシング 45~46
そ の 他	マイクミキシングのしかた・マイクミキシング録音のしかた
	タイマー再生・録音のしかた 47~52
	タイマー再生のしかた・タイマー録音のしかた
	スリープタイマー 53
	スリープタイマーの設定のしかた
	故障かな?と考える前に 54~55
	仕様 56
	保証とアフターサービス (必ずお読みください) 57
	著作権について 58

安全上のご注意 (必ずお読みください)




本機を正しく安全にご使用いただくために

<ご使用の前に>

絵表示について この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

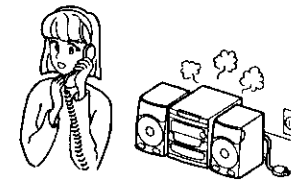
絵表示の例

-  △記号は注意 (警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は感電注意) が描かれています。
-  ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
-  ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと) が描かれています。

警告

■万一異常が発生したら

● 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。



● 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



● 万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



安全上のご注意 (つづき)

警告

表示以外の電圧で使用しないでください

● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



● 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災の原因となります。



液体の入った容器などを置かないでください

● 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。



風呂場などでは使用しないでください

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

● 本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



水ぬれ禁止

雷が鳴り出したら

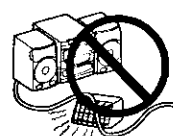
● 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



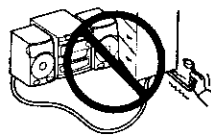
接触禁止

電源コードを大切に

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

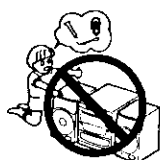


● 電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線など) 販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



異物を入れないでください

● 本機の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



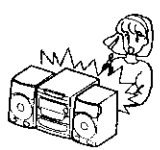
● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

ふたをはずしたり、改造しないでください

● 本機の裏ふた、キャビネット、カバーは絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

● 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

安全上のご注意

警告

電池について

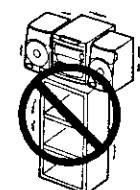
● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。



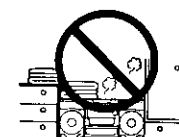
注意

ご使用になる場所について

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

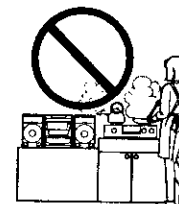


● 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの裏や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。



本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



電源コードを粗雑に扱わないでください

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



持ち運ぶときのご注意

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線など外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

アンテナを立てるとき

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

● 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。



安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

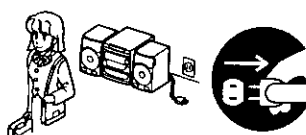
■電池の使用は

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。



■長期間ご使用にならないとき

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

■接続について

- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となります。



■特に小さなお子様のいるご家庭では

- 本機に乗ったりしないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となります。



- お子様がかセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となります。



指を挟まれないよう注意

■音量について

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となります。



■レーザー光源について

- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。



■ディスク使用時のご注意

- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となります。



■日頃のお手入れについて

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

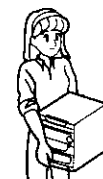


一般的なお注意

使用上のご注意

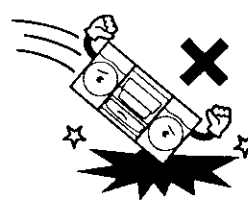
移動したり持ち運ぶときは

本機を移動したり持ち運ぶときはオープン/クローズボタンを押して、ディスクトレイを引き出し、CDを取り出した後、ディスクトレイを閉めてください。

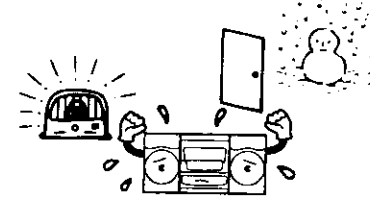


衝撃を与えないでください

落としたり、物にあてたりして、強い衝撃を与えないでください。故障したり、性能が十分発揮できないことがあります。

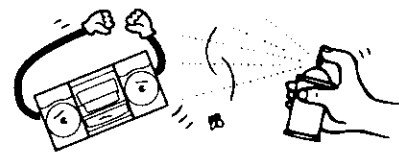


温度差のある所への移動は禁物
寒い所から急に暖かい所への移動は避けてください。故障の原因となります。



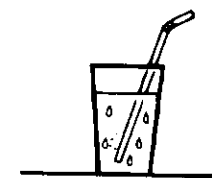
お手入れについて

ケースやパネルに殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどをつけたりしますと、塗装がはがれたり変色することがあります。表面の汚れは柔らかい布でふいてください。



結露について

冷えている本機を暖かい部屋へ急に移すとCDプレーヤー部の信号を読み取るピックアップレンズに水滴がついて(結露現象)、正しく動作しないことがあります。このような場合には1~2時間待ってから使用してください。



ヘッドの清掃

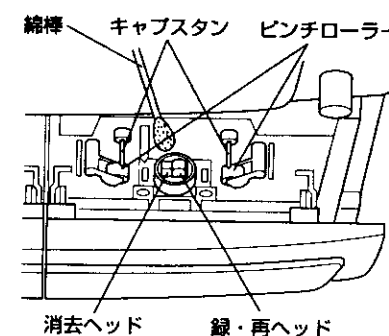
カセットレコーダーは使っているうちに、ヘッドなどテープ走行面がしだいに汚れます。汚れたままで使うと音がでなかったり、途切れたりします。約10時間使用しましたら、次の手順でヘッドの清掃を行なってください。

- ① 電源を切り、カセット取出し部を押してカセットホルダーを開けます。
- ② 綿棒に市販のクリーニング液をしみ込ませて、ヘッドやピンチローラー、キャプスタンを軽くふきます。

●ヘッドの消磁について

長時間使用して、高域が低下したり、雑音が出たりしたときは、市販のヘッド消磁器でヘッドの消磁を行なってください。

TAPE B



超音波加湿器の使用について

本機の周囲での超音波加湿器の使用は避けてください。本機の周囲で超音波加湿器を使用しますと、加湿器に使用する水の水质によっては、水中にとけているカルシウムなどが空気中に飛散し、本機のレンズやセンサーの表面に白い粉として付着し、正常な動作をしなくなることがあります。

本機内のレンズやセンサーの表面にゴミや浮遊物などが付着いたしますと、正確な動作をしなくなることがあります。設置場所により定期的な清掃が必要になります。詳細は、サービスマンにご相談ください。

特長

■CDオートチェンジャー

3枚のディスクを連続して演奏できるCDオートチェンジャー。長時間演奏を楽しむことができます。

■タイマー内蔵

ラジオの留守録音や、ラジオ、CD、テープなどによる目覚まし演奏ができます。また、スリープタイマーも内蔵していますので、ラジオやCD、テープを聴きながらおやすみになることもできます。

チューナー部

■AM/FMデジタルシンセサイザーチューナー

AM/FMが受信できるオートチューニング機能付デジタルシンセサイザーチューナーです。

■30局プリセットメモリー

合計30局がプリセットメモリーでき、リモコンで選局が可能です。

カセットレコーダー部

■CDシンクロ録音/オートバックレック機能

ワンタッチでCDを録音できます。プログラム演奏と組み合わせれば、ご希望の曲だけ録音することもできます。またこのとき、往復録音中にテープのA面の終わりで曲が途切れた場合には、その曲をB面の頭から録音しなおすオートバックレック機能が働きます。

■オートリバース機能

TAPE A、TAPE B共にテープの走行方向を自動的に切り換えるオートリバースカセットデッキです。

■高速ダビング (TAPE A→TAPE B)

通常のダビングの約半分の時間でダビングできます。

CDプレーヤー部

■ランダム演奏

ディスクに収められている曲の順番を自動的に並べ変えてランダム (順不同) に演奏します。

■プログラム演奏

CDの中から最大20曲まで自由にプログラムして演奏できます。

■ダイレクト演奏

希望の曲から演奏を始めることができます。

■くり返し演奏

1曲、全曲、全ディスク、プログラムした曲およびランダム演奏のくり返し演奏をすることができます。

■8cmディスク演奏可能

12cmディスクに加えアダプターなしでそのまま8cmディスクの演奏ができます。

アンプ部

■イコライザーパターン

6種類の好みの音場が楽しめるイコライザーパターンを搭載。

■ダイナミックバスサウンドシステム

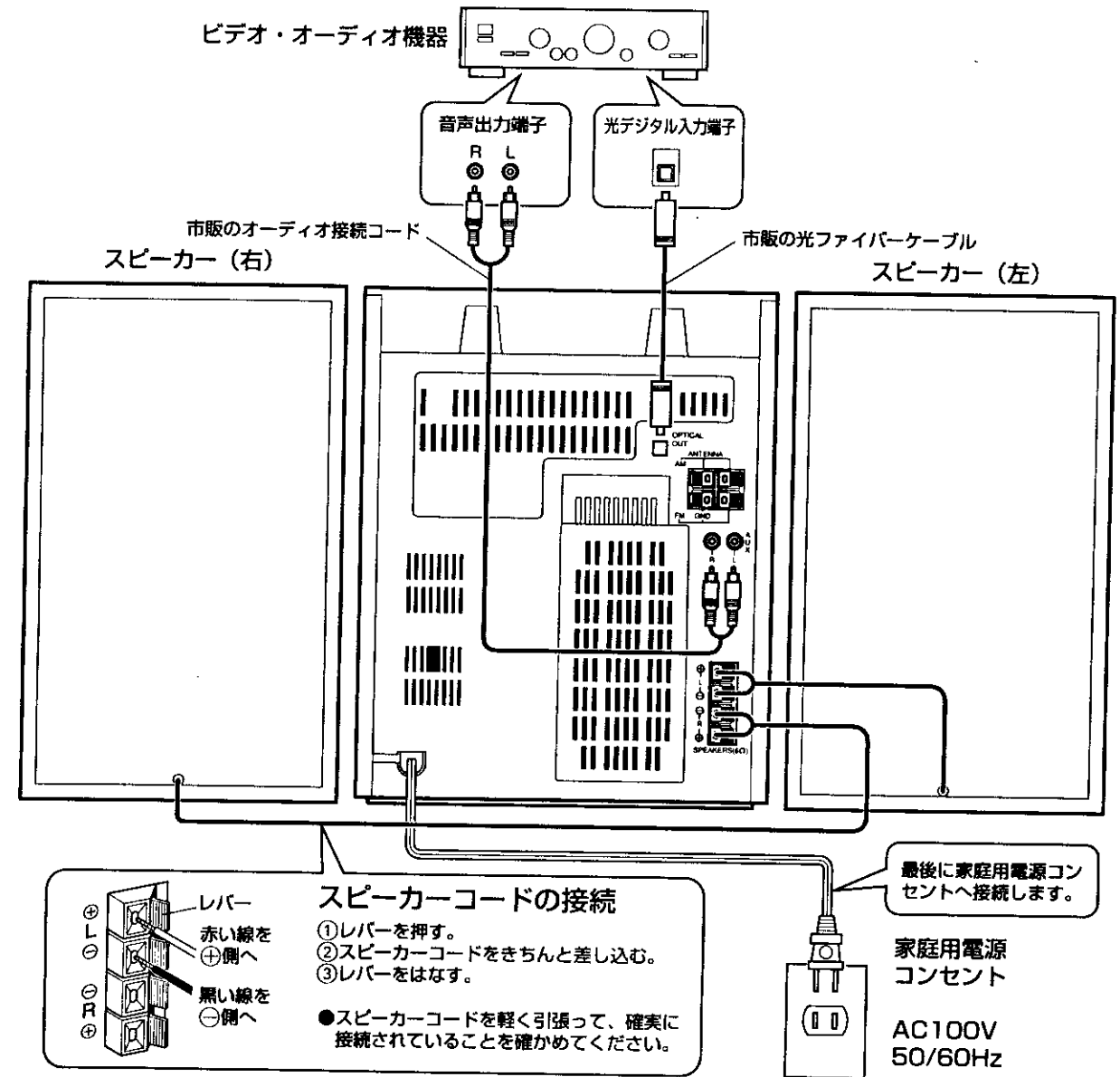
ダイナミックバスサウンドシステムにより豊かな迫力ある重低音演奏を可能にしています。

■ハイトーンプロセッサ

再生音量に応じて最適特性で高音を強調します。

接続のしかた

スピーカー・外部機器との接続



■音声用コードの接続について

本機のAUX (補助入力) 端子とお手持ちのビデオ・オーディオ機器の音声出力端子を市販のオーディオコードで接続します。

●L、Rをまちがえないように正しく接続してください。

■光ファイバーケーブルの接続について

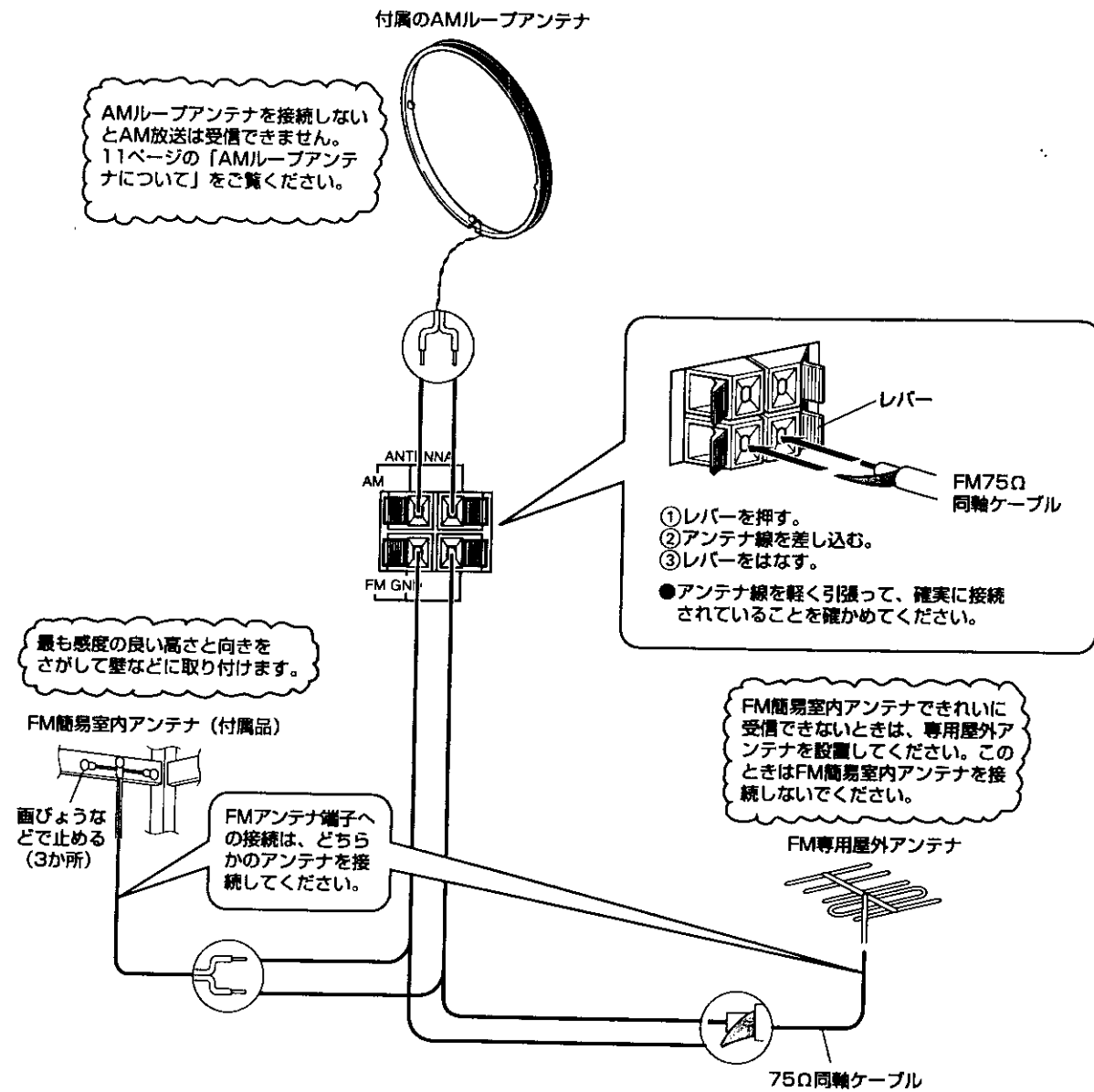
本機のCD光デジタル出力端子とお手持ちのビデオ・オーディオ機器の光デジタル入力端子を市販の光ファイバーケーブルで接続します。

ご注意

CD光デジタル出力端子からは、CDのデジタル信号のみを出力します。テープおよびラジオ音声をこの端子から録音することはできません。

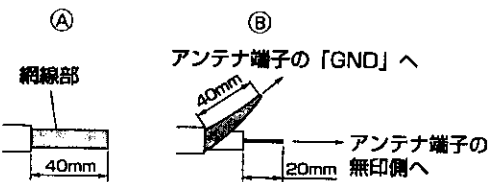
本機の補助入力端子 (AUX) に接続した機器の音声を楽しむときは、本機の入力を「AUX」に合わせます。外部機器を操作するときは各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

アンテナの接続



●同軸ケーブルの接続方法

- ① 同軸ケーブル先端の外被を取ります。(A)
- ② 網線部をまとめてねじり、しん線部の絶縁体を取ります。(B)
- ③ しん線をアンテナ端子の無印側へ、網線部をアンテナ端子の「GND」側へ接続します。



ご注意

同軸ケーブルをアンテナ端子に接続するときは同軸ケーブルの網線部を約40mm程度に加工し、アンテナ端子にしっかりと固定してください。確実に固定しないとアンテナ端子から同軸ケーブルがはずれることがあります。

AMループアンテナについて

1 AMループアンテナは、放送が最もきれいに受信できる位置をさがして設置してください。このとき、次の点に注意してください。

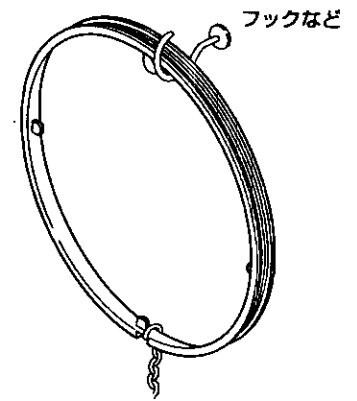
- 金属製のラックなどに近づけないでください。
- 蛍光灯・テレビなどの雑音が出る機器に近づけないでください。



- AMループアンテナおよびそのコードに、スピーカーコードや電源コードなどが近づかないようにしてください。

2 付属のAMループアンテナをフックなどに掛けて使用します。

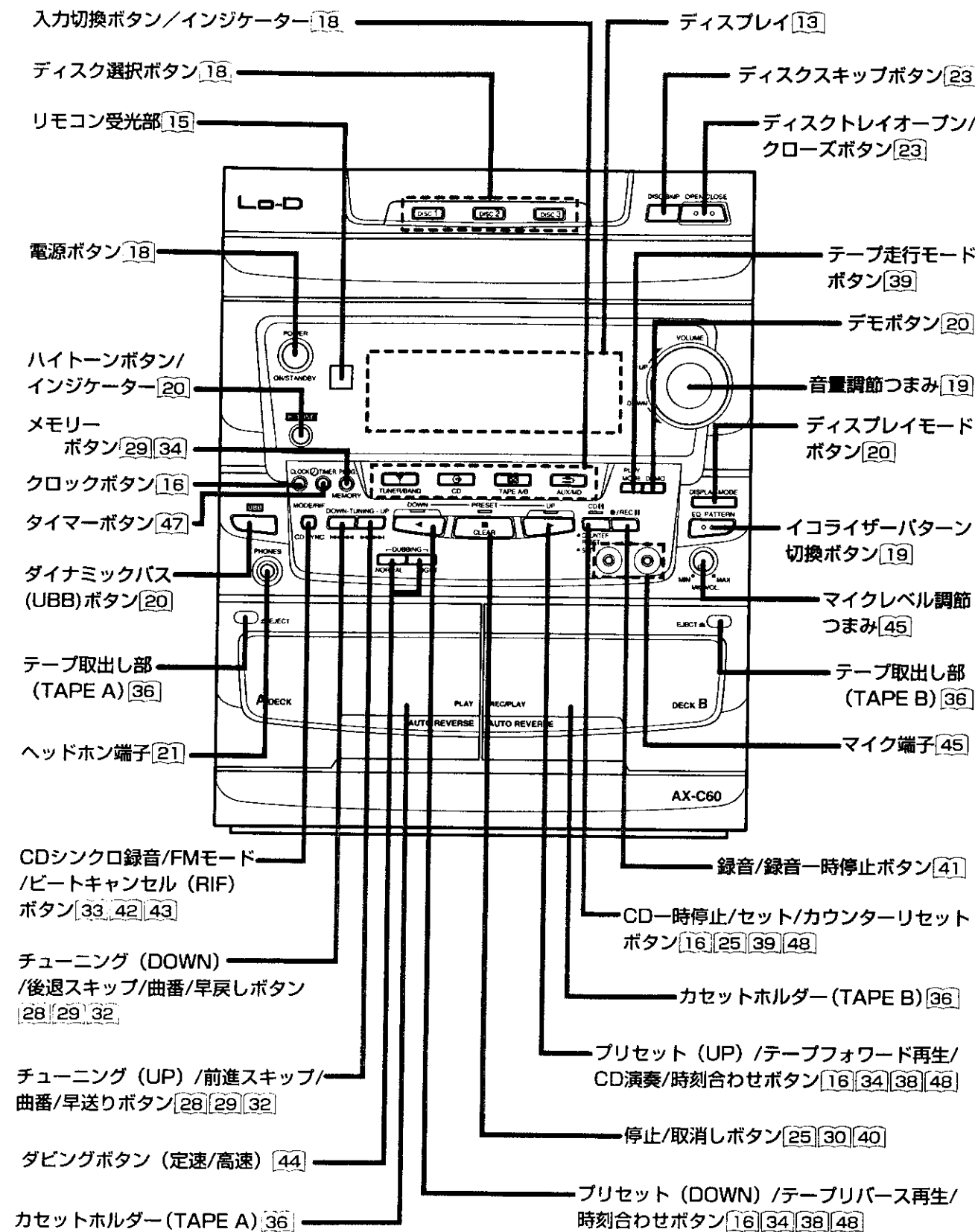
- AM放送が最もよく聴こえる位置をさがして設置してください。



各部の名称

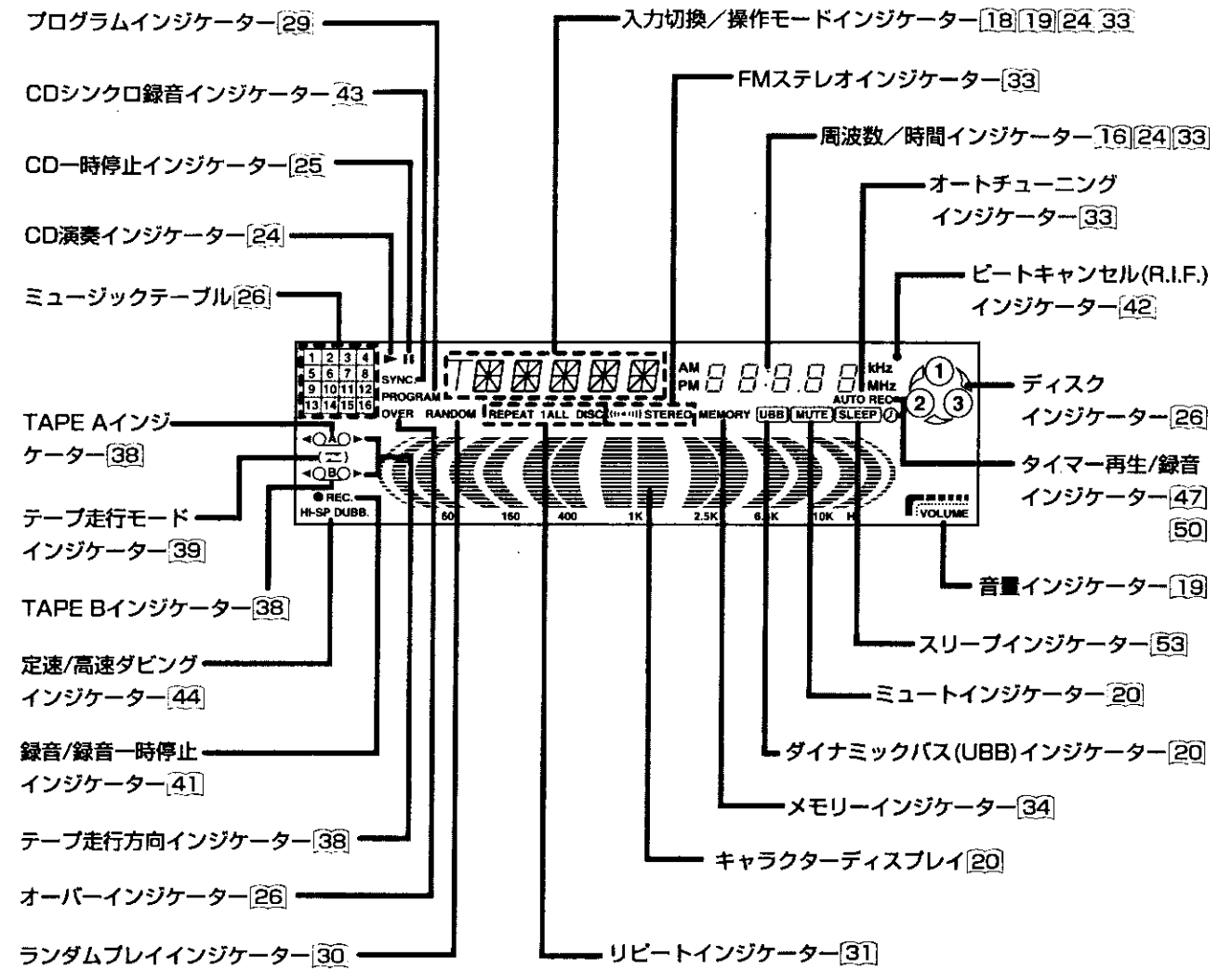
本体前面

☐内の数字は参照ページを示します。

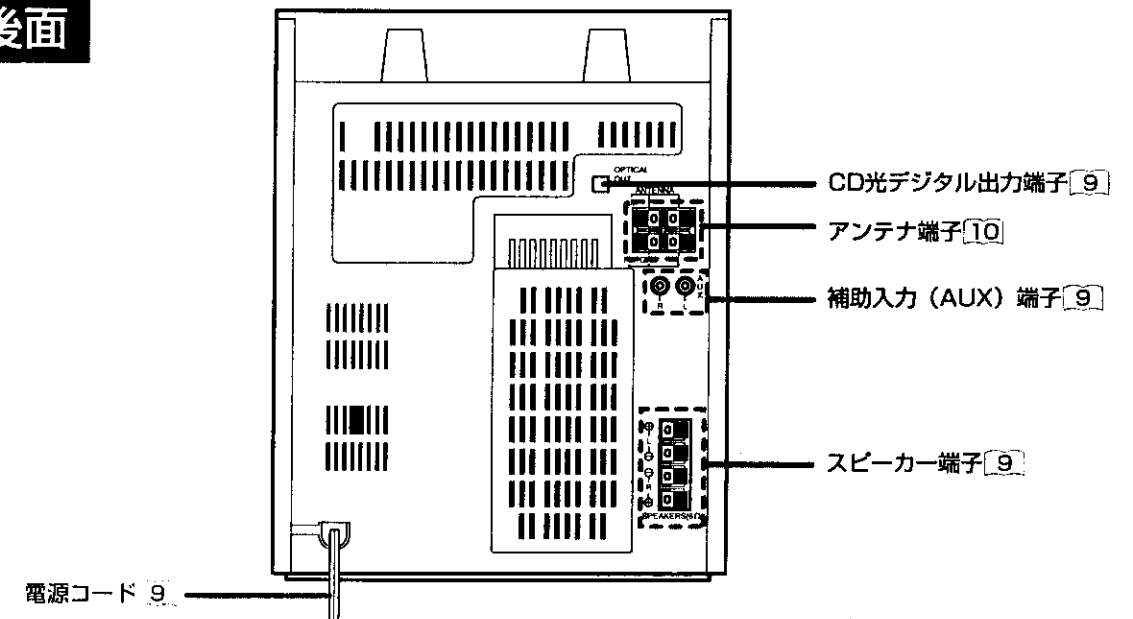


各部の名称

ディスプレイ



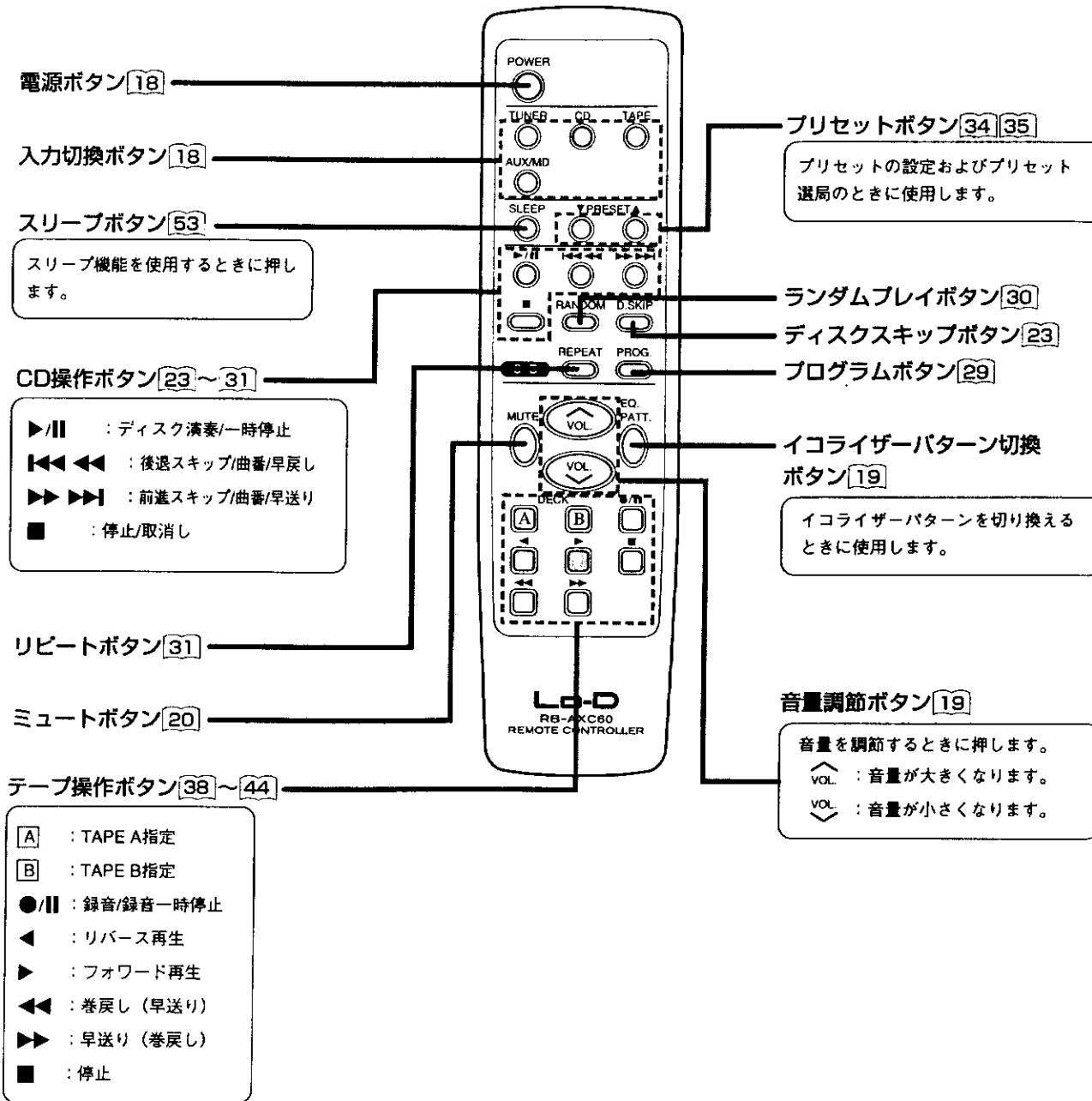
本体後面



各部の名称 (つづき)

リモコン

□内の数字は参照ページを示します。



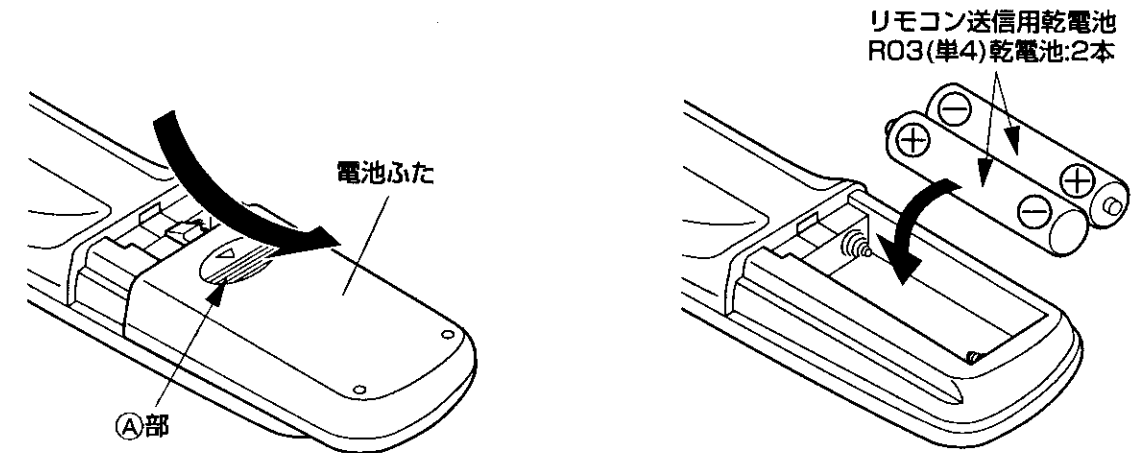
□のボタン操作は、押したボタンの入力に自動的に切り換わり、押したボタンのソースが再生・受信できます。(オートプレイ機能) 18ページの「オートファンクション機能について」をご覧ください。

各部の名称

リモコンの使える範囲は

- リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。
- 動作範囲は、受光部の正面に向けた場合の直線距離で5~7m以内です。正面からずれるとこれより短くなります。

電池の入れかた



- ①電池ふたのA部を下に押しながらかつ矢印の方向に引くと、電池ふたがはずれます。
- ②電池の+、-を確認して、正しく入れてください。電池はR03 (単4) 乾電池2本を使用します。
- ③電池を入れ終わったら、電池ふたを取り付けます。

注意

乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。次の点にご注意ください。

- ①乾電池は+プラスと-マイナスの向きを、間違えないように正しく入れてください。
- ②新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ③種類の異なる乾電池 (例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池) を混ぜて使用しないでください。
- ④長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- ⑤乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

リモコン操作時のご注意

- リモコンの操作をするとき、操作ボタンの早押しをすると、本体が動作しない場合があります。操作ボタンはゆっくりと確実に押してください。
- リモコン受光部に強い光が当たっていたり、リモコンと受光部の間に障害物があると、リモコンが動作しないことがあります。
- リモコンの乾電池が消耗すると、リモコンの動作範囲内でも動作しないことがあります。そのときは2本とも新しい乾電池と交換してください。
- リモコンに水などの液体をかけたり、滴下させないでください。内部に液体が入ると、リモコンの操作ができなくなります。

現在時刻の合わせかた

電源コードを接続すると、時計表示の「--:--」が点灯します。

本機の時刻表示は12時間表示と24時間表示の2種類があります。お好みの表示に切り換えてご使用ください。

- 12時間表示でご使用になる場合のAM、PMの意味は、夜の12時は「AM12:00」、昼の12時は「PM12:00」です。

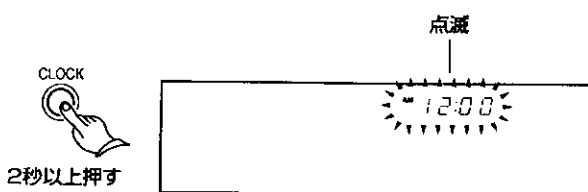
■初めて現在時刻を設定するには

- 以下の例は12時間表示を選択している場合の現在時刻の合わせかたです。24時間表示の場合も12時間表示の合わせかたと同様です。

たとえば午後6:30(PM6:30)に合わせるとき

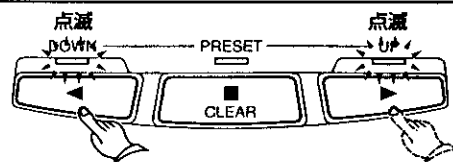
1 時刻合わせ開始。

クロックボタンを2秒以上押します。

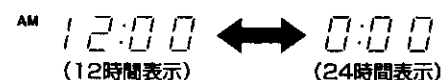


- 時刻表示の「AM12:00」が点滅します。

2 「12時間表示」、「24時間表示」を切り換える。

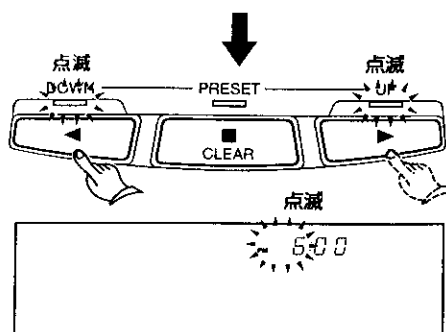
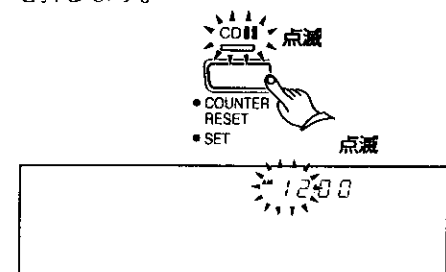


◀または▶ ボタンを押して、表示を切り換えます。押すたびに表示が下記のように切り換わります。



3 「時」を合わせる。

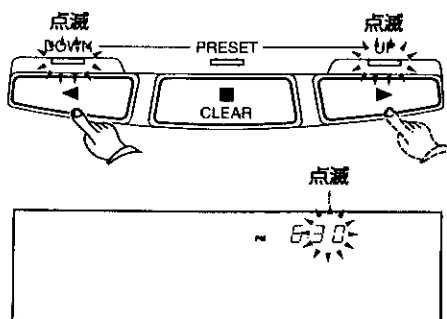
セットボタンを押した後、◀または▶ ボタンを押して、午後6時 (PM:6) に合わせ、再度セットボタンを押します。



再度セットボタンを押すと、「時」表示が点灯し、「分」表示が点滅しますので、次に「分」を合わせます。

4 「分」を合わせる。

◀または▶ ボタンを押して、30分を合わせます。



5 時刻合わせ終了。

セットボタンを押します。この時から、時計は動作を始めます。



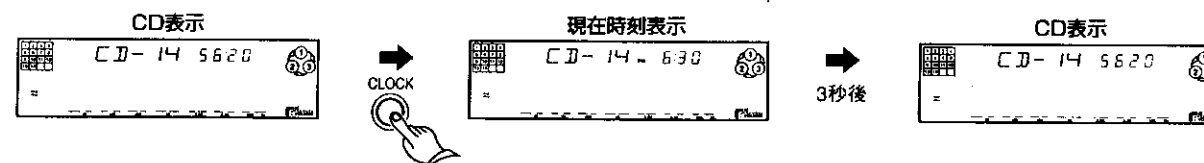
現在時刻の合わせかた

■現在時刻の確認 / 変更について

現在時刻の確認/変更は、入力切換の位置に関係なく行なうことができます。またディスクの演奏、テープの再生・録音中、放送の受信中にも行なうことができます。ただし、タイマー再生およびタイマー録音中ではできません。

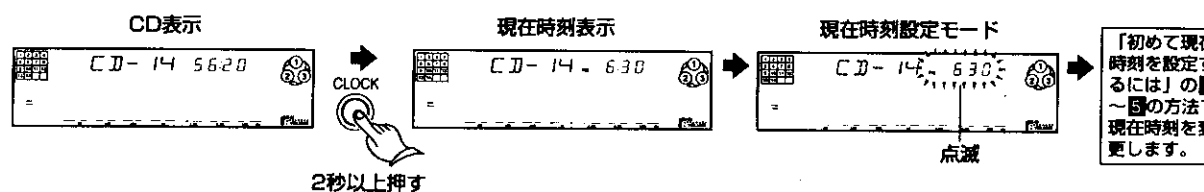
● 現在時刻の確認

現在時刻の確認をするには、クロックボタンを押します。3秒間現在時刻を表示後、元の表示に戻ります。
(例) 入力切換がCDでCDが停止中のときは



● 現在時刻の変更

現在時刻を変更するにはクロックボタンを2秒以上押します。現在時刻設定モードになり現在時刻を変更することができます。

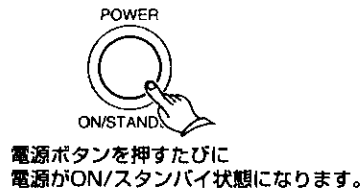


電源をOFFにすると現在時刻表示になります。

操作をする前に

マーク付きの操作は本機付属のリモコンでも操作できます。

電源ボタンについて



電源ボタンを押すたびに電源がON/スタンバイ状態になります。

本機では電源ON/OFF時にディスプレイに次のメッセージが表示されます。

電源ON時	電源スタンバイ時
WELCOME	GOOD-BYE

- 電源コードをコンセントに差し込んだ時には「HELLO」のメッセージが表示されます。

入力切り換えのしかた

再生するソースは、本体の入力切換ボタンまたはリモコンの入力切換ボタンによって切り換えます。

- 選ばれている入力の入力切換ボタン（本体）が緑色に点灯します。

操作する入力切換ボタン		切り換わる入力
本体	リモコン	
TUNER/BAND	TUNER	チューナー..... FM/AM放送を聴くとき
CD	CD	CD..... CDプレーヤーで演奏をするとき
TAPE A/B	TAPE	テープ..... テープデッキで再生をするとき ●ディスプレイにTAPEと表示されます。
AUX/MD	AUX/MD	AUX/MD..... 補助入力端子に接続した機器を再生するとき ●ディスプレイにAUXと表示されます。

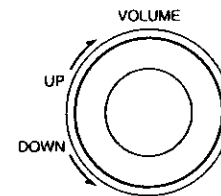
オートファンクション機能について

本機では本体およびリモコンで以下の操作をすると自動的に入力が切り換わり再生を始めます。

操作するボタン	切り換わる入力
リモコン PRESET	チューナー..... FM/AM放送
本体 DISC 1 DISC 2 DISC 3	CD..... CD演奏
リモコン RANDOM	テープ..... テープ再生

操作をする前に

音量調節のしかた



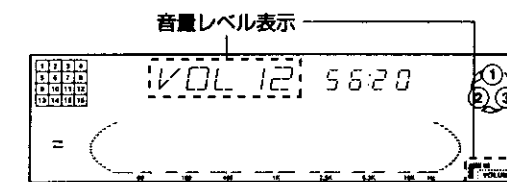
- ↻ : 右に回すと音が大きくなります。
- ↻ : 左に回すと音が小さくなります。

- 音量の大きさはディスプレイに表示されます。（下記「音量表示について」をご覧ください。）
- リモコンの音量調節ボタン「VOL-」 「VOL+」を押すと、音量を調節することができます。

⚠注意

大音量で連続使用すると、大量の熱を発生しますので本機の周囲をふさがないようにして放熱を十分行なってください。

■音量表示について

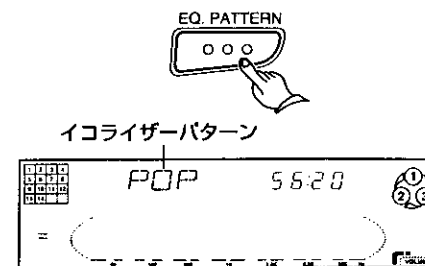


音量レベルはディスプレイに表示されます。

- 数字が大きくなるほど音量は大きくなり、数字が小さくなれば小さくなります。
- 音量調節操作をすると自動的にディスプレイが音量レベルを表示します。（VOL 00~99）

音質調節のしかた

音質調節はイコライザーパターン切換ボタンによりすでに本機に記憶されている6種類（ROCK/POP/CLASSIC/VOCAL/JAZZ/FLAT）の中から選びます。イコライザーパターン切換ボタンを押すたびにイコライザーパターンが切り換わります。お好みのパターンでご使用ください。

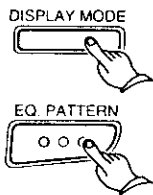


- ROCK ロックなどを迫力ある音で聴きたいときに最適です。
- POP 音が明るい感じになり、こもりを抑えることができます。
- CLASSIC 長時間リスニングに適した特性です。クラシック音楽を聴くときは、耳にやさしいので疲れません。
- VOCAL ボーカルを際立たせます。オペラ、ミュージカルだけでなくマイクミキシングにもむいています。
- JAZZ ジャズクラブにいるような雰囲気音です。ジャズミュージックを聴くときに最適です。
- FLAT ソフト本来の音が自然に聴こえます。標準的な音です。

- イコライザーパターンはディスプレイに表示されます。
- イコライザーパターンは録音内容には効果がありません。

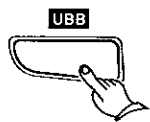
操作をする前に (つづき)

キャラクターディスプレイについて



各周波数帯域の信号レベルをリアルタイムに表示して、その曲の特徴（キャラクター）をダイナミックに表現します。
表示パターンはディスプレイモードボタンで本機に記憶されている9種類の中から選びます。また、イコライザーパターン切換ボタンを押したときには、選択されたイコライザーパターンの特性（キャラクター）が表示されます。

重低音の効いた迫力のある音で聴くには(ダイナミックバス)



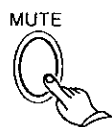
重低音の効いた迫力ある音で聴きたいときには、ダイナミックバスボタンを押します。
(**UBB** インジケータ点灯)
●ボタンを押すたびにUBB-1→UBB-2→UBB-OFFと順に表示がくり返し切り換わります。
●切るときはボタンを押してUBBインジケータをOFF（消灯）にします。
UBB:Ultra Bass Boost (ウルトラ・バス・ブースト)

高音を強調させて聴くには(ハイトーン)



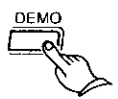
高音を強調したい時は、ハイトーンボタンを押します。
●ハイトーンボタンが緑色に点灯します。
切るときは、もう一度押します。(ボタンの緑色消灯)

音を一時的に消すには (リモコン操作のみ)



電話や来客などで、一時的に音を消したいときに便利です。
ミュートボタンを押すと音が消えます。もとの音量に戻すときはもう一度押します。
●消音中はディスプレイにミュートインジケータが点灯します。
●音量調節を操作すると、音量は元に戻ります。

デモモードについて



デモンストレーションモードにするときは、このボタンを押します。
チューナー、テープ、AUX、CDの各機能表示がいろいろな形でディスプレイに表示されます。
●切るときはもう一度ボタンを押します。
●電源ON、OFFに関係なくこのボタンを押すとデモモードになります。

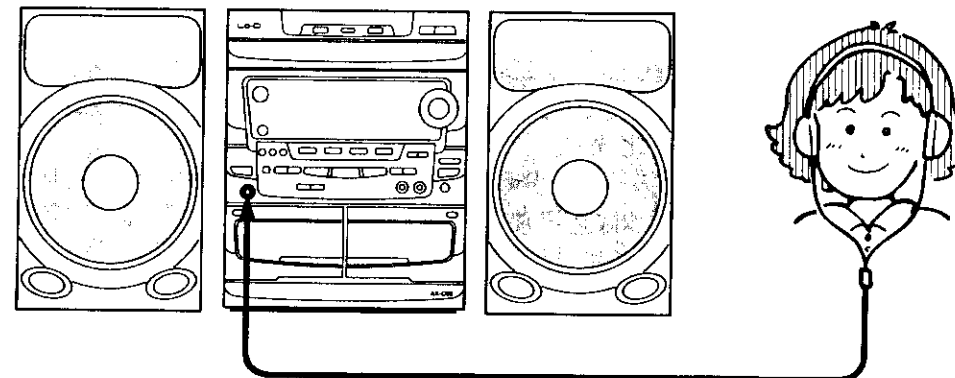
操作をする前に

ヘッドホンでお聴きになるときは

- 夜間などにヘッドホンで音楽を楽しまれるときは、別売のステレオヘッドホンのステレオ標準プラグを本体のヘッドホン端子に差し込みます。ヘッドホンの音量は、音量調節つまみで調節します。ヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーから音が出なくなります。



注意 ヘッドホンは耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。



■ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

コンパクトディスクについて



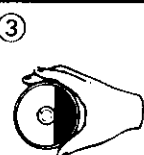
本機のCDプレーヤーで演奏できるディスクは、左記のマークがついているものです。



① 右手で左右を持ち、左手で上下を持ってフタを開けます。



② センターホルダーを押さながらディスクを持ち上げます。



③ ディスクの縁を持ち、表面に触れないように扱ってください。

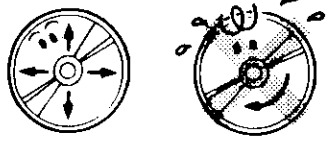
■ディスクについてのご注意

- コンパクトディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- ディスクレール面に「Compact Disc」のマークが入ったものなど、JIS規格に合致したものをご使用ください。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。



取り扱いについて

●指紋、油、ゴミなどをつけないでください。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で内側から外側に向けてふいてください。



●熱を加えないでください。



●曲げたりしないでください。



●表面に傷をつけないように、特にケースからの出し入れには注意してください。



●中心の穴を大きくしないでください。



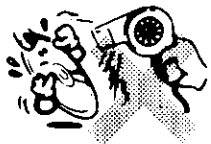
●レーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。



●ベンジン、シンナー、水、レコードスプレー、静電防止剤、シリコンクロスなどでふかないでください。



●屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと、表面に水滴がついて演奏できないことがあります。このときは、乾いた柔らかい布で水滴をふいて乾燥させてから使用してください。なお、水滴はヘアードライヤー等で乾かさなでください。



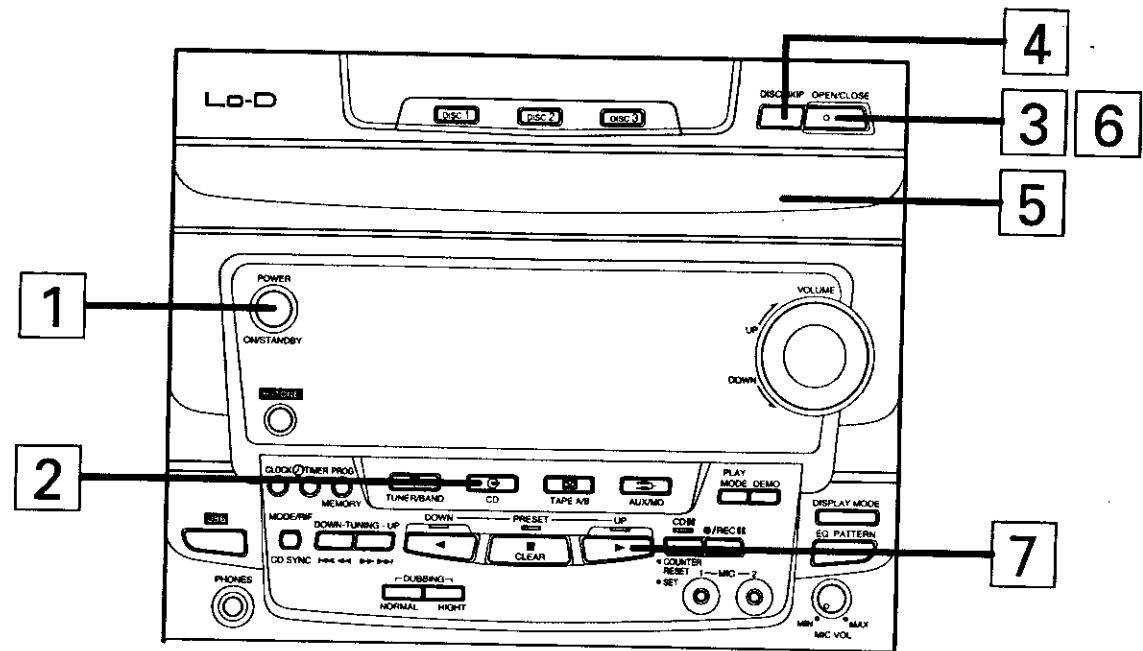
保管について

- 長期間本機を使用しないときは、必ずディスクを本機から取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

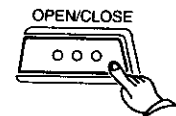
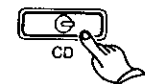
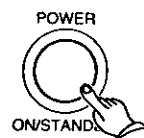
- 次のような場所には置かないでください。ディスクに反りなどが生じて、演奏できなくなることがあります。
 1. 直射日光が長時間あたる場所。
 2. 湿気、ほこりなどが多い場所。
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ。

CD演奏

ディスクナンバー1の1曲目から演奏を始めるには



- 1 電源を入れる。
- 2 入力を「CD」に切り換える。
- 3 ディスクトレイを開ける。



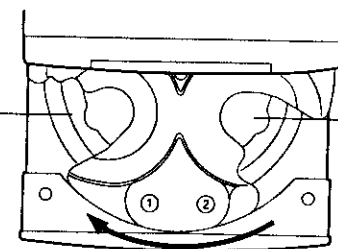
●18ページの「入力切り換えのしかた」をご覧ください。

- 4 ディスクナンバー1のトレイを選ぶ。

ディスクスキップボタンを押すたびにディスクトレイが回転します。ディスクナンバー1用トレイを手前左側にします。



ディスクナンバー1用トレイ



ディスクナンバー2用トレイ

ディスクスキップボタンを押すたびにトレイが矢印の方向に回転します。

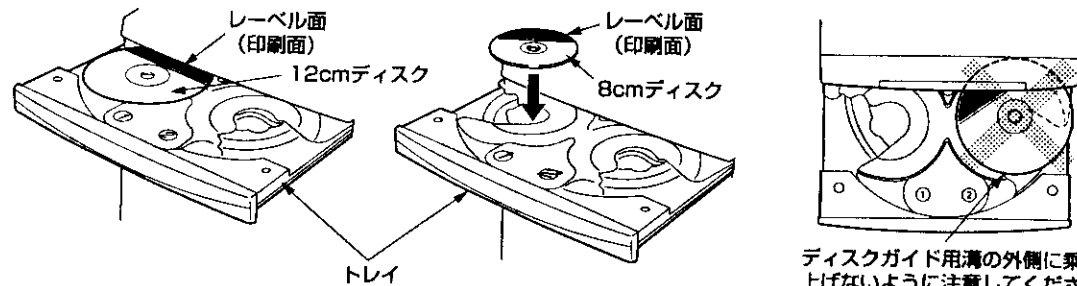
- ディスクはディスクナンバー1、2、3のどのトレイにセットしても演奏することができます。ディスクをセットし、ディスクトレイを閉めると自動的にディスクがセットされているディスクナンバーを選びます。

CD演奏 (つづき)

5 ディスクをセットする。

コンパクトディスク (12cm, 8cm) は、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
(コンパクトディスクの演奏は片面だけです。)

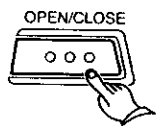
- ディスクは3枚まで同時にセットすることができます。



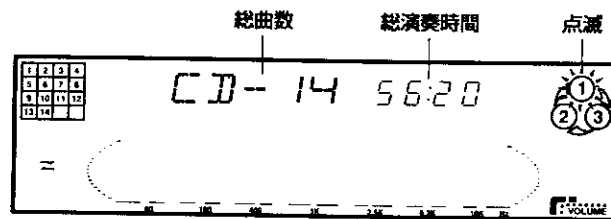
ディスクガイド用溝の外側に乗り上げないように注意してください。

12cmディスクは、トレイの溝の内側にのせてください。溝の外周に乗り上げないように注意してください。
8cmディスクは、トレイの中央にある8cmディスク用溝の内側に確実にセットしてください。ディスクを正しくのせないとディスクが傷ついたり、故障の原因となります。

6 ディスクトレイを閉める。

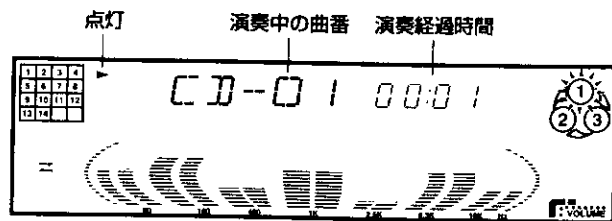
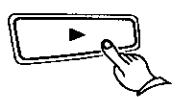


トレイを閉めると約5秒後に総曲数、総演奏時間が表示されます。



- 選ばれているディスクインジケータが点滅します。
(26ページの「ディスクインジケータについて」をご覧ください。)
- ディスクが無いときは「D15C」と表示されます。

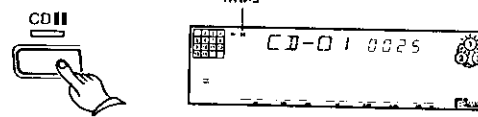
7 演奏を始める。



- ディスクナンバー1のディスクを演奏終了すると自動的に次のナンバーのディスクを探し演奏します。ディスクトレイに入っているディスクをすべて演奏終了すると自動的に止まります。

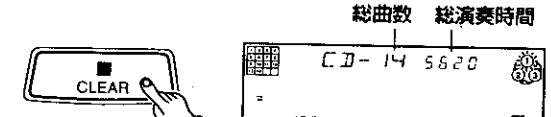
CD演奏

演奏の一時停止



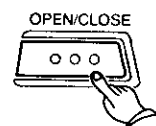
演奏を再開するときは、もう一度押します。
(演奏ボタンを押しても再開します。)

演奏を止めるとき



すべての演奏が終了したときは、自動的に止ります。

ディスクを取り出すには

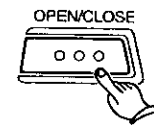


ディスクを取り出したら、トレイを閉めておいてください。

このようなときディスクトレイは自動的に閉まります

- トレイを開けた状態で電源をON/OFFしたとき。
- CDの演奏ボタンを押し演奏状態にしたとき。
- ディスク選択ボタンを押したとき。

CD演奏中に他のディスクを交換するには



CD演奏中に、現在演奏中以外のディスクを交換することができます。ディスクトレイオープン/クローズボタンを押します。ディスクトレイが開きますので好みのディスクに交換してください。交換が終わったら再度ボタンを押してディスクトレイを閉めます。


ご注意

- ディスクトレイに異物を入れたり、無理に手で開閉したりしないでください。故障の原因になります。
- CDプレーヤーを使用しないときは、ゴミやホコリを防ぐため、ディスクトレイを閉めておいてください。
- テレビの近くでCDを演奏すると、テレビの画面や音声に影響を与えることがあります。このときは本機をテレビから離してください。

CD 演奏 (つづき)

ディスクインジケータについて

ディスクインジケータはディスクトレイにセットしてあるディスクの状態を示します。ディスクインジケータの状態により以下ようになります。



① 内の数字点滅 選ばれているディスクナンバーまたは現在演奏中のディスクナンバー

① 点灯 これから演奏するディスクナンバーまたは演奏終了したディスクナンバー


○ 内の数字消灯 ディスクが入っていないディスクナンバー
(演奏しようとしてディスクが入っていない場合に消灯します。)

ミュージックテーブルについて


- 停止状態でディスクがセットされていないときは、[1]～[16]が消灯し、「DISC」と表示され、ディスクが無いことを示します。
- ディスクがセットされていて停止状態のときは、そのディスクに入っている曲数を表示します。
- 17曲以上入っているディスクがセットされているときは16曲まで表示し、オーバーインジケータ (OVER) が点灯してCDのディスクが17曲以上あることを示します。(総曲数は操作モードインジケータに表示されます。)
- 1ディスクの演奏を始めて1曲終わるごとにその曲の曲番が消えていき、演奏中の曲とこれから演奏する曲番だけを表示します。

■このようなディスクは使用しないでください

- コンパクトディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- ディスクレーベル面に「DISC」のマークが入ったものなどJIS規格に合致したものの以外は使用しないでください。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。



×




×

CD 演奏の便利な使いかた

好きなディスクから演奏を始めるには・・・ディスクダイレクト演奏

ディスク選択ボタンで好みのディスクを選んでください。演奏ボタンを押さなくても選んだディスクより演奏を始めます。

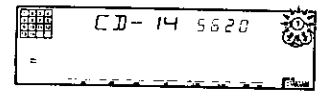

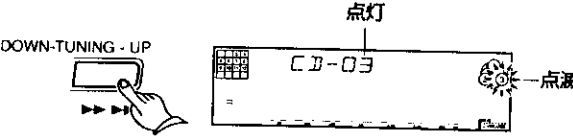
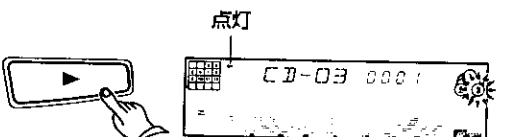
■たとえばディスクナンバー2のディスクを演奏するとき

<p>1 準備。</p> <p>23ページ「ディスクナンバー1の1曲目から演奏を始めるには」の1～6に従って好みのディスクをセットします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 停止状態、演奏状態のどちらからでも始めることができます。 	<p>2 ディスクナンバー2を選ぶ。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>ディスクナンバー2のディスクの1曲目より演奏が始まります。</p>
---	---

好きな曲から演奏を始めるには・・・ダイレクト演奏

スキップ/曲番ボタンで曲番を選んで演奏ボタンを押してください。その曲から演奏を始めます。

■たとえばディスクナンバー3に入っている12曲入りのディスクの3曲目から演奏を始めるとき

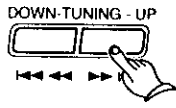
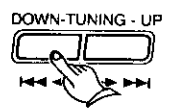
<p>1 停止状態から操作します。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>2 ディスク3を選ぶ。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>ディスクインジケータの3が点滅するまでくり返し押しします。 (26ページ「ディスクインジケータについて」参照)</p>
<p>3 3曲目を選ぶ。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>4 演奏を始める。</p> <div style="text-align: center;">  </div>

● 前進スキップ/曲番ボタン (▶▶▶) は停止中に押し続けると連続して曲番が変わります。最終曲でさらに押し続けると1曲目に戻ります。

● 後退スキップ/曲番ボタン (◀◀◀) を押すと前の曲へ戻ります。1曲目でさらに押すと最終曲に戻ります。

CD 演奏の便利な使いかた (つづき)

演奏中にすばやく好きなところをさがすには…マニュアルサーチ

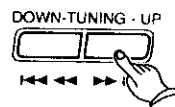
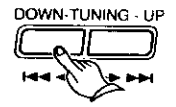
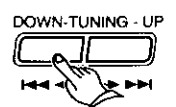
早送り	早戻し
 <p>演奏中にボタンを押しつづけます。指を離すと通常の演奏に戻ります。</p>	 <p>演奏中にボタンを押しつづけます。指を離すと通常の演奏に戻ります。</p>

マニュアルサーチについて

- 演奏中に前進スキップ/曲番/早送り (▶▶▶▶) ・後退スキップ/曲番/早戻しボタン (◀◀◀◀) を押し続けると、音を聴きながら好きなところをさがせます。
- マニュアルサーチ中は通常の演奏より小さな音になります。
- 一時停止状態でマニュアルサーチを行なうと、音を出さずに早送りや早戻しができます。
- マニュアルサーチ中に早戻しでディスクの1曲目の始めまでくると1曲目の始めから演奏が始まります。(一時停止状態の場合には、その曲の始めで一時停止状態となります。) また、早送りでディスクの最後までくると次のディスクがセットされていれば次のディスクの1曲目より演奏が始まります。セットされていなければ停止状態になります。
- プログラム演奏中に早送りをすると、プログラムした曲の終了したところで次のプログラム曲に移りマニュアルサーチ動作になります。また早戻しをしたときは、プログラムした曲の頭で早戻しが解除され演奏が始まります。

演奏中に好きな曲へ飛ぶには…スキップ演奏

■たとえば5曲目を演奏中のとき

次の曲(6曲目)を演奏する	5曲目をもう一度演奏する	4曲目を演奏する
 <p>「ボン」と1回押す 1回「ボン」と押すと、次の曲へ移り、押す回数により次の曲、次の曲へと移ります。</p>	 <p>「ボン」と1回押す 1回「ボン」と押すと、今聴いている曲の頭に戻ります。</p>	 <p>「ボン」「ボン」と2回押す 連続して2回「ボン」「ボン」と押すと、前の曲に戻り押す回数により前の曲、前の曲へと戻ります。</p>

ご注意

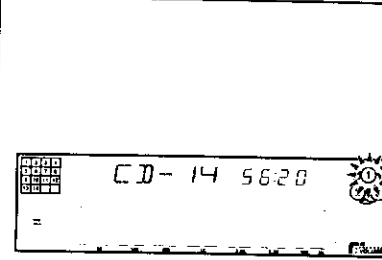
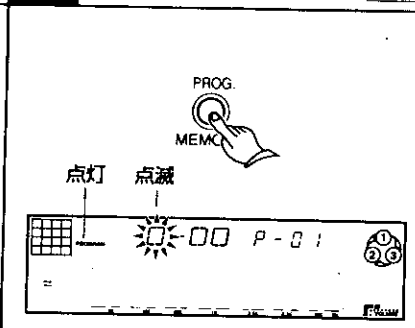
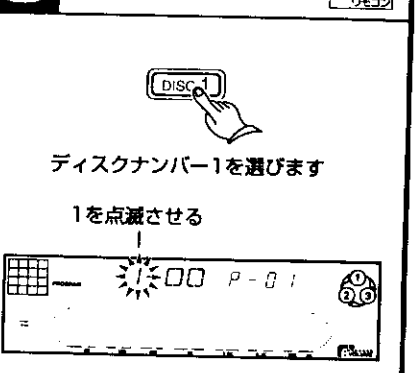
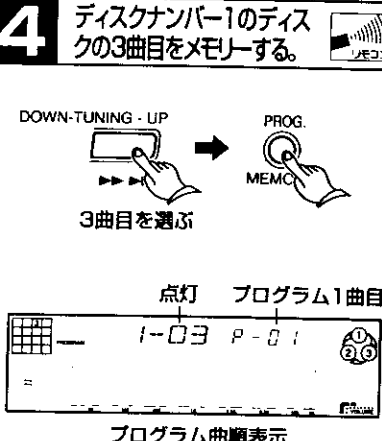
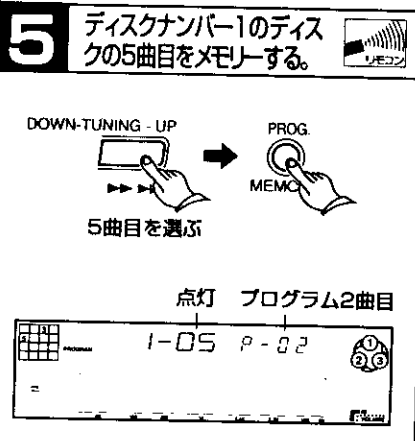
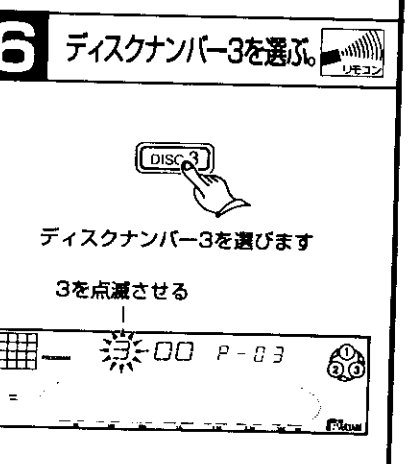
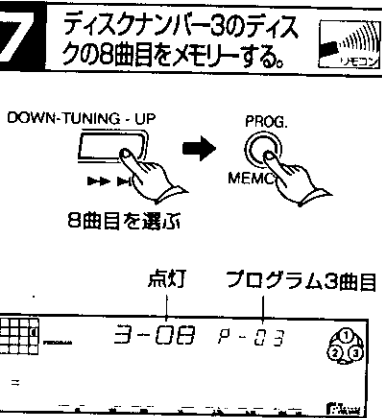
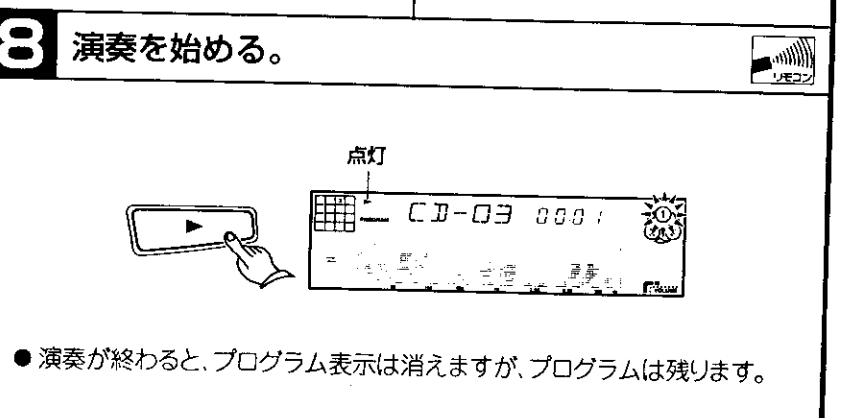
スキップ演奏を行なうときは、スキップ/曲番ボタンを「ボン」と短く押してください。スキップ/曲番ボタンは、押し続けるとマニュアルサーチ動作(上記参照)になります。

CD 演奏の便利な使いかた

好きな曲を選び好きな順番で演奏するには…プログラム演奏

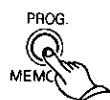
最大20曲まで好きな順番でプログラム演奏ができます。

■たとえばディスクナンバー1のディスクの3曲目、5曲目と、ディスクナンバー3のディスクの8曲目をプログラムし、演奏するには

1 停止状態から操作します。	2 プログラムモードにする。	3 ディスクナンバー1を選ぶ。
		
4 ディスクナンバー1のディスクの3曲目をメモリーする。	5 ディスクナンバー1のディスクの5曲目をメモリーする。	6 ディスクナンバー3を選ぶ。
		
7 ディスクナンバー3のディスクの8曲目をメモリーする。	8 演奏を始める。	
	 <p>● 演奏が終わると、プログラム表示は消えますが、プログラムは残ります。</p>	

CD 演奏の便利な使いかた (つづき)

プログラムの確認/変更・追加



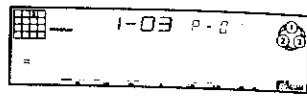
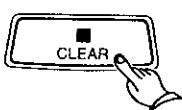
確認

プログラム終了後、プログラムボタンを押します。ボタンを押すごとにプログラムした順に曲番が表示されます。

変更・追加

プログラムボタンで変更、追加したいプログラムの曲番を選び、ディスク選択ボタン、曲番ボタンで選曲後、再度プログラムボタンを押せば、プログラムを変更、追加することができます。

プログラムの取消し



プログラム演奏を止める

演奏中、停止/取消しボタンを押します。(メモリーされているプログラムは残ります。)

プログラムの取消し

停止中、プログラムボタンを押して上図のプログラム表示をさせます。この状態で停止/取消しボタンを押すとすべてのプログラムが取消されます。

プログラム演奏中にできる操作

プログラムを消さずに、次の操作ができます。

- 停止 ● 一時停止 ● 早送り、早戻し ● くり返し演奏
- スキップ演奏(プログラムされている順に飛びます。)

こんなときプログラムは取消されます

- 電源を切ったとき。
- ディスクトレイを開いたとき。

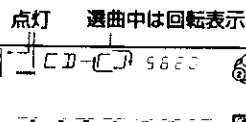
自動的に曲順を並べ変えて演奏するには…ランダムプレイ



(リモコン操作のみ)

ミュージックテーブルの曲番が順にながれます

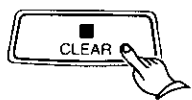
RANDOM



ディスクに収められている曲の順番を自動的に並べ変えて演奏を始めます。

- ディスク内のすべての曲を演奏し終わると次のディスクに移動しそのディスクのランダムプレイが始まります。
- ランダムプレイは、停止状態あるいは演奏中でも始めることができます。
- 一時停止状態でランダムプレイを始めると選曲後、一時停止状態となります。

ランダムプレイを取り消すには



停止/取消しボタンを押します。

- ディスクトレイにセットされているディスクのすべての曲を演奏し終わると、自動的に取り消されます。

ランダムプレイ中にできる操作

- 前進スキップ/曲番/早送りボタン (▶▶▶▶) を押すと、新たに曲順を変えて演奏します。
- 後退スキップ/曲番/早戻しボタン (◀◀◀◀) を押すと、現在演奏している曲の頭に戻り、演奏を始めます。前の曲には戻りません。
- 前進スキップ/曲番/早送りボタン (▶▶▶▶) を押し続けると、現在演奏されている曲が早送りされます。演奏している曲の終わりを越えると、新たに曲順を変えて演奏します。
- 後退スキップ/曲番/早戻しボタン (◀◀◀◀) を押し続けると、現在演奏している曲が早戻しされます。演奏している曲の始めまでくると、その曲の頭から演奏状態になります。ランダムプレイモードは解除されません。

CD 演奏の便利な使いかた

くり返し演奏するには…リピート演奏

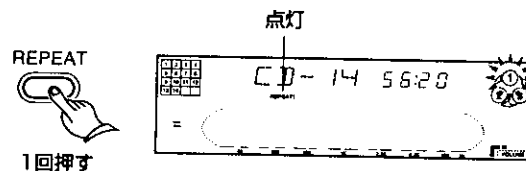


(リモコン操作のみ)

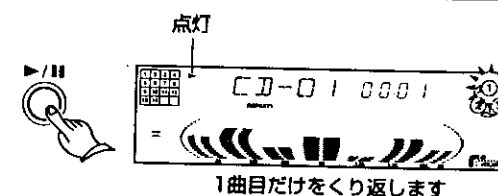
くり返し演奏は停止状態あるいは演奏中のどちらでも操作できます。

1 曲だけをくり返し演奏するには …… 1トラックリピート

1 1曲くり返しにする。



2 演奏を始める。

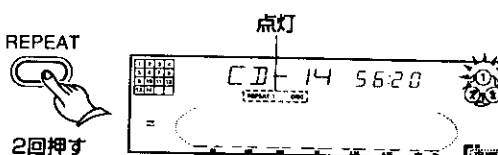


好きな曲だけをくり返すには27ページの「ダイレクト演奏」で好みの曲を選んだ後、1曲くり返しにします。

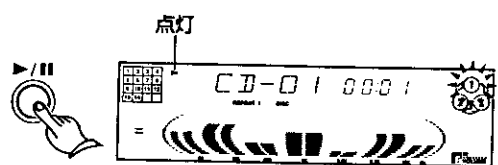
1 枚のディスクをくり返し演奏するには …… 1ディスクリピート

- ディスクスキップボタンで好みのディスクを選んでください。

1 全曲くり返しにする。



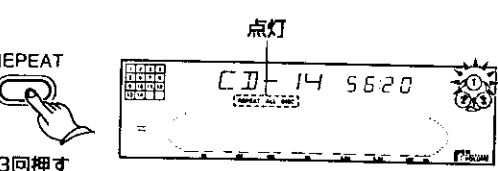
2 演奏を始める。



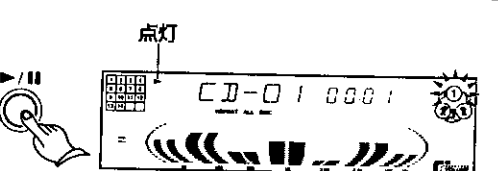
すべてのディスクをくり返し演奏するには …… オールディスクリピート

- 好みのディスクをディスクトレイにセットしてください。

1 全ディスクくり返しにする。



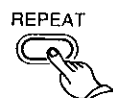
2 演奏を始める。



くり返し演奏の取消し



(リモコン操作のみ)

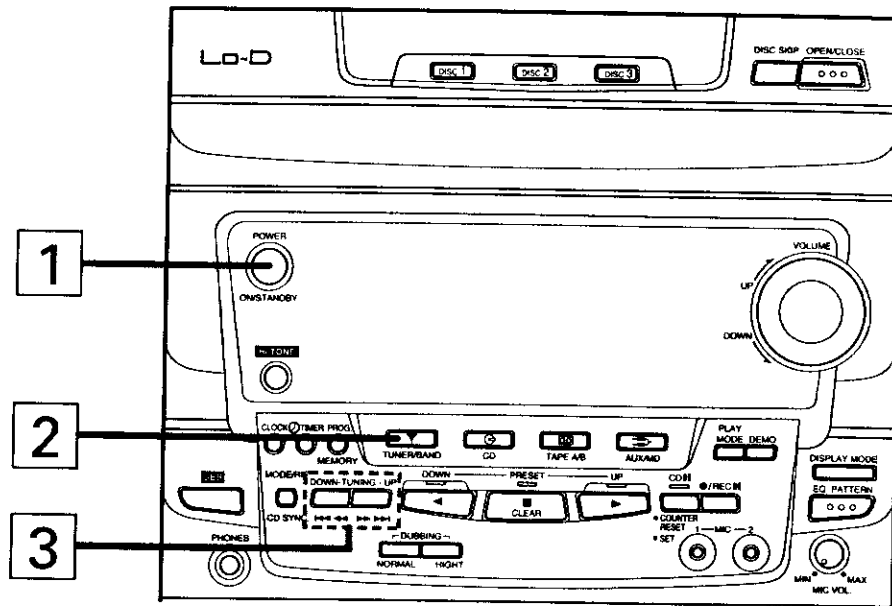


- リピートボタンをくり返し押し、リピートインジケータを消灯させます。通常の演奏に戻ります。

便利な使いかた

- CDのプログラムを行なった後、リピートボタンを押すと、プログラムした曲をくり返し演奏することができます。(プログラムリピート)
- ランダムプレイボタンを押しランダムプレイを選んだ後、リピートボタンを押すと、ランダムプレイのくり返し演奏をすることができます。(ランダムリピート)

放送の受信



<p>1 電源を入れる。</p> <p>POWER ON/STANDBY</p>	<p>2 入力を「TUNER」に切り換え、希望のバンドを選ぶ。</p> <p>TUNER/BAND</p> <p>このボタンを押すたびに受信バンドFM↔AMが交互に切り換わります。</p>	<p>3 放送局を選ぶ。</p> <p>DOWN-TUNING - UP</p> <p>詳しくは下欄「選局のしかた」をご覧ください。</p>
---	---	---

選局のしかた (マニュアル/オートチューニング)

- FM 放送
 - チューニングボタンの「UP」または「DOWN」を「ポン」と押すと、周波数表示が0.1MHzづつ変化します。(マニュアルチューニング)
 - チューニングボタンを1秒以上押し続ける(「AUTO」インジケータ点灯)と、周波数は連続的に変化します。このときボタンから指をはなしておくと、放送を受信したところで自動的に止まります。(オートチューニング)
- AM 放送
 - チューニングボタンの「UP」または「DOWN」を「ポン」と押すと、周波数表示が9kHzづつ変化します。(マニュアルチューニング)
 - チューニングボタンを1秒以上押し続ける(「AUTO」インジケータ点灯)と、周波数は連続的に変化します。このときボタンから指をはなしておくと、放送を受信したところで自動的に止まります。(オートチューニング)
 - オートチューニングを途中で停止させる場合は、「UP」または「DOWN」をポンと押します。(「AUTO」インジケータ消灯)

チューナーの表示について

<p>● FM受信の表示</p> <p>ステレオモードのとき点灯</p> <p>FMバンド</p> <p>82.5 MHz</p> <p>AUTOチューニングのとき点灯</p>	<p>● AM受信の表示</p> <p>AUTOチューニングのとき点灯</p> <p>AMバンド</p> <p>1404 kHz</p>
--	--

入力切換ボタンで入力を切り換えたり、FM/AM (バンド) を切り換えても、そのバンドの最後に受信した放送の、周波数およびFM受信モードを記憶しています。

FMモード切換ボタンについて (FM受信モード)

MODE/RF

CD SYN

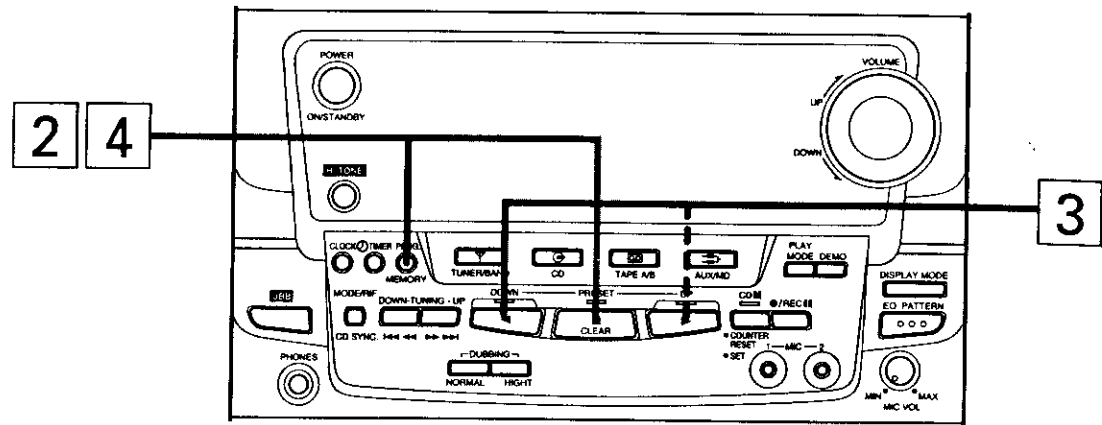
FM放送受信時に、このボタンを押すたびにモノラルモードとステレオモードが交互に切り換わります。ステレオモードでは「STEREO」インジケータが点灯します。FMステレオ放送を受信すると「(■■■■)」インジケータが点灯し、自動的にステレオになります。

- 放送をステレオで聴くとき雑音が多かったり、音声途切れるような場合には、モノラルモードにします。ステレオで聴くことはできませんが、雑音や音切れが軽減されます。
- AM放送は常にモノラル受信です。

放送受信

プリセットのしかた

●FM、AM合わせて合計30局プリセットできます。



1 準備。
32ページの「放送の受信」にしたがって、プリセットしたい放送を受信します。

2 プリセット設定モードにする。
1で受信した放送局の周波数5秒間点滅
5秒間点灯
PROG. MEMO

3 プリセット番号を選ぶ。
プリセット番号が点滅中（5秒間）にプリセットボタンで好みのプリセット番号を選びます。
例：プリセット番号2を選んだ場合
点滅
点灯

4 プリセットする。
プリセット番号が点滅中に押します。
回転表示の後点灯
PROG. MEMO
「MEMORY」表示消灯

●プリセット番号1～10には、あらかじめ調整用の周波数をメモリーしてありますので、初回だけメモリーをすべて消します。メモリーボタンを3秒以上押し、ディスプレイの「CLEAR」の表示が点滅している間に停止/取消しボタンを押すとすべてのメモリーが消えます。
●合計30局をプリセットした後、さらにプリセットしようとしてプリセット設定モードにすると、ディスプレイに「FULL」と表示されます。この状態でプリセットすると選んだプリセット番号の内容が新しく選んだ放送局の周波数に書き換えられます。

メモリーインジケータが消灯し、選んだプリセット番号が点灯します。
1～4の手順をくり返しFM、AM合わせて合計30局をプリセットすることができます。

プリセットした放送局を変更したいときは

プリセットするときと同じ手順で重ねてプリセットすると新しい周波数がメモリーできます。

プリセット選局

●FM、AMの好みの放送局をプリセットしてから選局します。

1 電源を入れる。
POWER ON/STAND BY

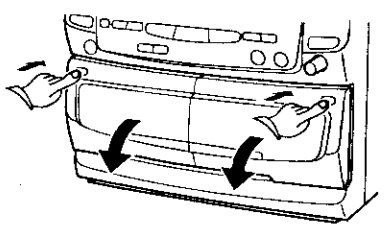
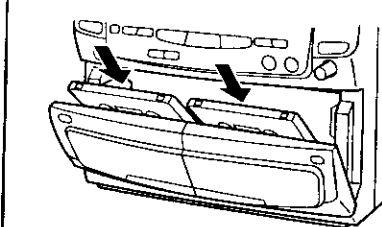
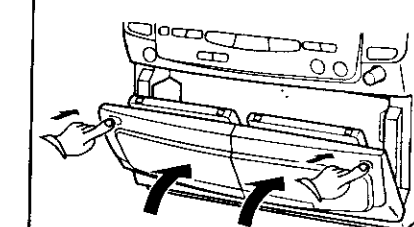
2 入力を「TUNER」に切り換える。
TUNER/BA

3 プリセット選局する。
DOWN PRESET UP
CLEAR
例. プリセット番号2を選んだ場合
FM-02 82.5
プリセットボタンで聴きたい放送局を選びます。

電源コードをはずしたときなどでも、チューナーのプリセットメモリーは約5日間保持しています。メモリーが消えたときはプリセットしなおしてください。

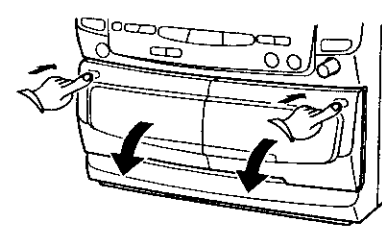
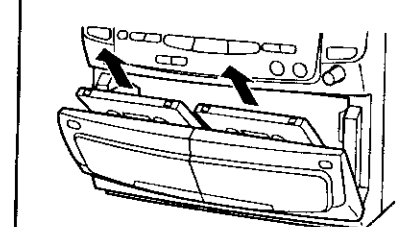
再生・録音を始める前に

カセットテープの入れかた

<p>1 カセットホルダーを開く。</p>  <p>カセット取出し部を押します。</p>	<p>2 テープを入れる。</p>  <p>●テープの見える側を下にして入れます。 ●手前をA(表)面にします。</p>	<p>3 カセットホルダーを閉じる。</p>  <p>●QA○、QB○が表示されてテープが入っていることがわかります。</p>
--	---	---

●TAPE A、TAPE Bの切り換えについては38ページをご覧ください。

カセットテープの取り出しかた

<p>カセットテープを停止状態にして操作します。</p>	<p>1 カセットホルダーを開く。</p>  <p>カセット取出し部を押します。</p>	<p>2 テープを取り出す。</p>  <p>テープを取り出したらカセットホルダーを閉めます。</p>
------------------------------	--	--

ご注意

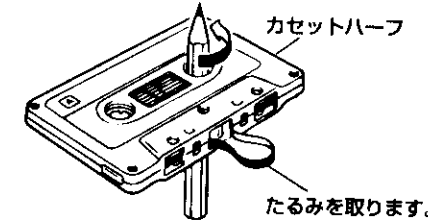
- カセットデッキを使用しないときは、ゴミやホコリを防ぐためにカセットホルダーを閉めておいてください。
- テープ走行中には、カセットテープを取り出すことはできません。
- 本機でエンドレステープを使用することはできません。
- テープを逆に入れたりすると、カセットホルダーは閉まらない構造になっています。無理に閉めないでください。
- C-120テープはテープが薄いため、何回も使用していると伸びたり巻き込んだりすることがあります。特に長時間録音が必要なとき以外は、できるだけ使用をさけてください。

再生・録音を始める前に

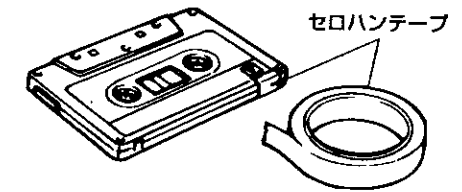
カセットテープについて

テープにたるみがあるときは...

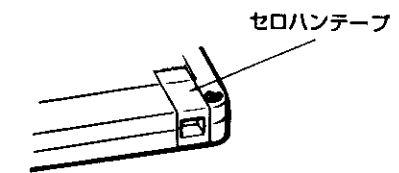
カセットハーフのリール軸に鉛筆などを差し込んで巻き取り、テープのたるみを直してからご使用ください。



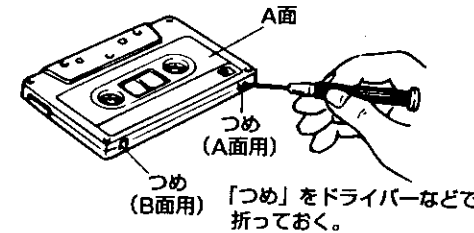
「つめ」を折ったテープに録音するには



穴の上にゼロハンテープを貼ると、録音ができるようになります。



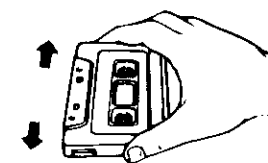
大切な録音内容を誤って消さないために



録音すると、前に録音した内容は消えてしまいます。「つめ」の部分折り取ると録音できなくなり、誤って消すことはありません。

テープが滑らかに走行しないときは

テープの一部分だけくり返し再生、巻戻しをするとテープの巻取りに段差ができ、カセットハーフにごすれてテープが滑らかに走行しないことがあります。このようなときはテーブルなどの上でカセットテープの両面を軽く数回たたか、一度巻き直してからご使用ください。



使用できるテープについて

本機で録音、再生できるテープはノーマルテープ (TYPE I) のみです。

保管するときは

プラスチックケースに入れ、直射日光、高温多湿、磁気およびほこりの多い場所をさけてください。

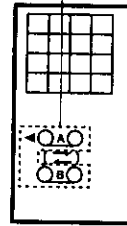
TAPE A/TAPE Bの切り換えについて

本機でテープを操作するときは、操作する側のテープを入力切換ボタンの「TAPE A/B」により切り換えます。



入力切換ボタンの「TAPE A/B」を押すたびにTAPE A、TAPE Bが切り換わります。

TAPE A/B インジケータ



- ディスプレイにも選ばれている側 (TAPE AまたはTAPE B) が表示されます。
- カセットテープをセットしていない場合は、TAPE A/Bインジケータは点灯しません。
- テープを片側のみに入れている場合は、入力切換ボタンの「TAPE A/B」を押しても、TAPE A/Bインジケータは切り換わりません。
- TAPE A、TAPE Bの切り換えは、次の操作をした場合、自動的に切り換わります。
 - ①カセットテープを入れてカセットホルダーを開けた時、カセットホルダーを開めた側に切り換わります。TAPE A、TAPE B共にこの操作をすると後で閉めた方へ切り換わります。
 - ②カセットテープを取り出した時、もう一方にテープがあれば、カセットテープのある側に切り換わります。
 - ③TAPE Bを停止状態から録音一時停止状態にするとTAPE Bに切り換わります。
 - ④CDシンクロ録音をしたとき、TAPE Bに切り換わります。
 - ⑤タイマー録音スタート時、TAPE Bに切り換わります。
- TAPE A動作中にTAPE Bに切り換えると、TAPE Aは停止します。また、その逆の場合も同様です。

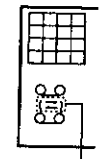
テープ走行モードについて

テープ走行モードボタンにより、テープの走行モードを指定できます。テープ再生時と録音時では走行モードが次のように変わります。



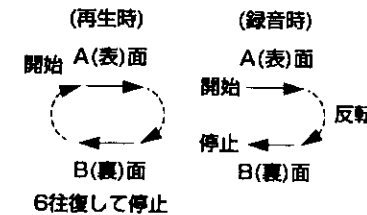
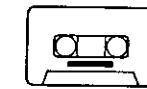
ボタンを押すたびに「再生」(再生時)、「録音」(録音時)インジケータが順番にくり返し点灯します。

- | | | | |
|------|-----|-----|-----|
| 再生時: | 再生時 | 再生時 | 再生時 |
| 再生時 | 再生時 | 再生時 | 再生時 |
| 再生時 | 再生時 | 再生時 | 再生時 |
| 再生時 | 再生時 | 再生時 | 再生時 |
| 再生時 | 再生時 | 再生時 | 再生時 |
| 再生時 | 再生時 | 再生時 | 再生時 |



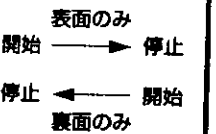
テープ走行モードインジケータ

エンドレスモード(再生時)/往復モード(録音時)



- 再生時
テープの両面をくり返し再生します。再生は6往復すると自動的に停止します。
- 録音時
A(表)面(フォワード)の録音が終わると、反転してB(裏)面(リバース)を録音します。B(裏)面のテープエンドまで録音すると自動的に停止します。B(裏)面からA(表)面には反転しません。B(裏)面の誤消去防止つめが折られていると、A(表)面の録音終了後、停止します。

二方向モード(再生/録音時)



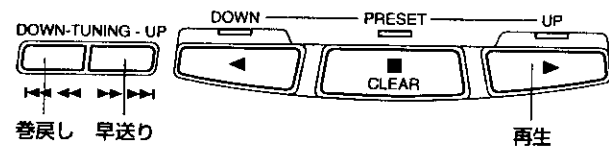
テープの片面だけを走行します。テープエンドまで走行すると自動的に停止します。

走行方向について

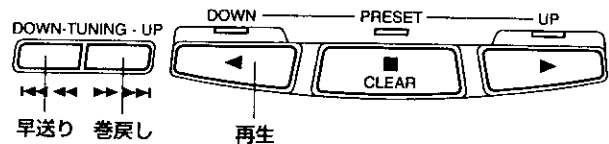
カセットデッキ部は、オートリバース機能付ですから、フォワードまたはリバースの再生ボタンを押すことでテープの走行方向を任意に指定することができます。操作上の説明においては正確に理解し、操作していただくために、フォワード走行方向 (▶) をもとに説明してあります。

リバース走行時 (◀) には、裏面再生となりますので逆に読みかえて操作してください。

●フォワード方向時



●リバース方向時

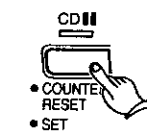


フォワード再生インジケータ

リバース再生インジケータ

テープカウンターについて

4桁の電子カウンターです。曲の頭出しの目安に使用すると便利です。



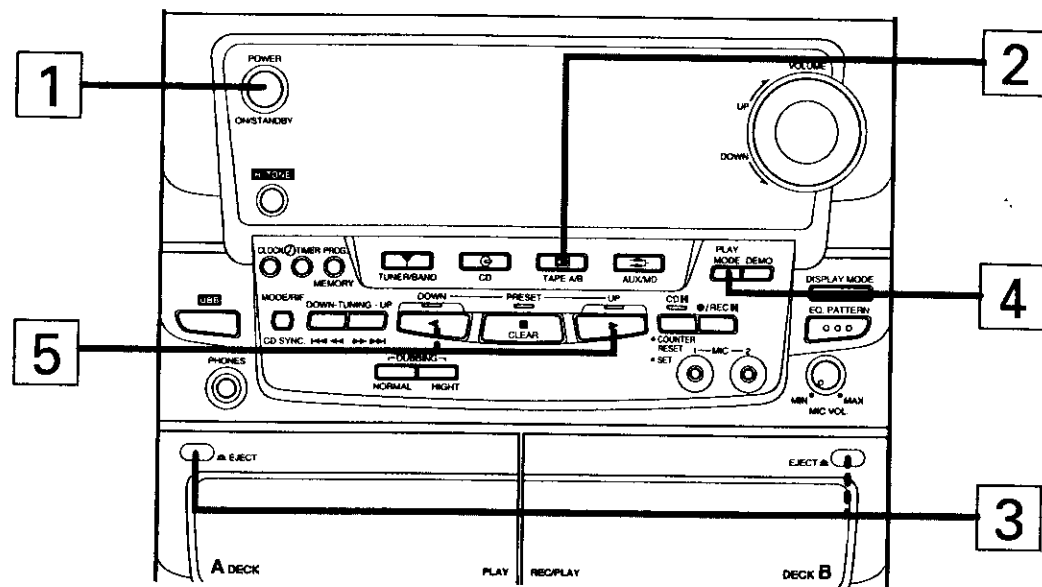
- 入力切換を「TAPE」にするとディスプレイのテープカウンター表示が点灯します。カウンターリセットボタンを押すと、テープカウンター表示が「0000」になります。

著作権について

あなたが本機で録音したものは、個人で楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。(58) ページ参照

テープ再生 (TAPE A・TAPE B)

再生してみましょう 本機で再生できるテープはノーマルテープ (TYPE I) のみです。



1 電源を入れる。 	2 入力を「TAPE」に切り換える。 ● 18ページの「入力切り換えのしかた」をご覧ください。	3 テープを入れる。 再生するテープをTAPE AまたはTAPE Bに入れます。 ● 36ページ「カセットテープの入れかた」をご覧ください。 ● TAPE A、TAPE Bの切り換えは自動的にテープを入れた側に切り換わります。
4 テープ走行モードを選ぶ。 希望のテープ走行モードを選びます。 39ページ「テープ走行モードについて」を参考にしてください。	5 再生を始める。 押した方向に再生が始まります。	

再生の停止

停止ボタンを押します。

早送り、巻き戻し

早送りまたは巻き戻しを行なうときは、停止ボタンを押して、停止状態にしてから早送りまたは巻き戻しボタンを押してください。(再生インジケータが早く点滅)
 ● 38ページ「走行方向について」をご覧ください。

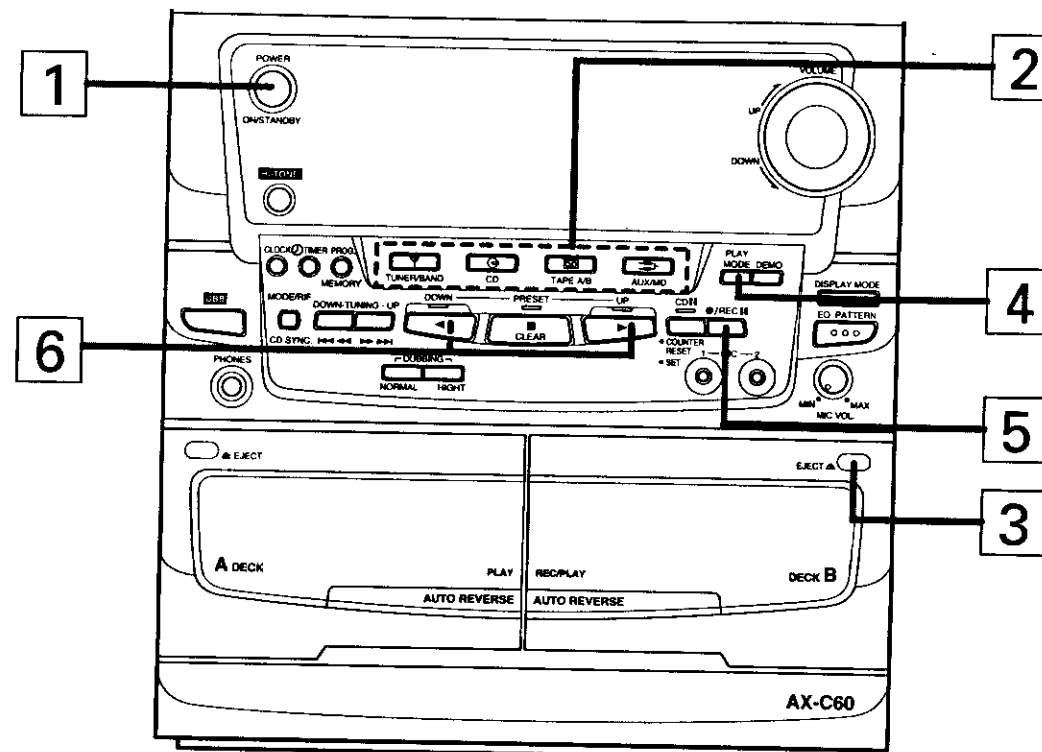
TAPE A、TAPE Bを連続して再生するには・・・テープルー再生

テープ走行モードが往復モード(二)またはエンドレスモード(二)のときに、TAPE A、TAPE Bの両方にカセットテープを入れ再生するとTAPE A、TAPE Bを連続して再生することができます。

往復モード(二)時 : TAPE Aを再生終了後、続けてTAPE Bを再生して停止します。
 エンドレスモード(二)時 : TAPE AにTAPE Bの再生を6回くり返して停止します。

テープ録音 (TAPE B)

録音してみましょう 本機で録音できるテープはノーマルテープ (TYPE I) のみです。



1 電源を入れる。 	2 録音するソースを選ぶ。 ● 入力切換ボタンで希望のソースを選びます。	3 テープを入れる。 録音するテープをTAPE Bに入れます。 ● 36ページ「カセットテープの入れかた」をご覧ください。
4 テープ走行モードを選ぶ。 希望のテープ走行モードを選びます。 39ページの「テープ走行モードについて」をご覧ください。	5 録音一時停止状態にする。 録音一時停止インジケータが点滅します。	6 録音を始める。 録音を始めた方向の再生ボタンを押します。 ソースの再生を始め録音を開始します。(CDの場合は同時に演奏が始まります) ● 再生ボタンを押した方向に録音が始まります。

テープ録音

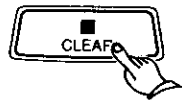
テープ録音 (つづき)

録音中の一時停止



録音中に録音一時停止ボタンを押すと、録音一時停止状態になります。録音を再開するときはもう一度押します。

録音の停止



停止/取消しボタンを押します。

●本機はオートリバースデッキです。録音する場合、次のように決めておくと、録音する面に対するミスを防ぐことができます。

A (表)、B (裏) 面連続して録音する場合

1. 走行方向を▶(フォワード)とする。
2. A(表)面が表(手前)になるようにテープをセットする。
3. リバースモードを「**二**」モードにする。

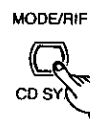
A(表)またはB(裏)面のどちらか片面のみ録音する場合

1. 走行方向を▶(フォワード)とする。
2. 録音したい面が表(手前)になるようにテープをセットする。
3. リバースモードを「**二**」モードにする。

録音レベルについて

- 本機は録音するレベルを自動的に調節します。
- イコライザーパターンは再生時のみ効果があり、イコライザー効果のある録音をすることはできません。

ビートキャンセル(RIF)切替ボタンについて



ボタンを押すたびに点灯、消灯をくり返します。

AM放送を録音するとき、録音一時停止状態で放送に「ピー」というビート音が入っている場合は、このボタンを切り換え、ビート音が小さくなる方を選んでください。ビート音は受信周波数によって変わりますので、最適な方を選んでください。

録音内容を消去するには

録音済みのテープに新しく録音すると、前の録音内容は消えますが、新しい録音をしないで前の録音内容を消したいときは、次のようにします。

- 入力切替ボタンを「TAPE」にして録音の操作を行ないます。

録音に関するご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音し、正常に録音されていることを確認してください。
- ご使用中、万一本機やテープなどの不具合により、録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- 本機でハイポジションテープおよびメタルテープの録音はできません。

録音時のご注意

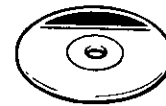
カセットテープの巻き初めと終わりの部分には透明または半透明のリーダーテープがあります。この部分には録音できません。あらかじめ鉛筆などを使って巻き上げておくと、頭切れの無い録音ができます。

録音の便利な使いかた

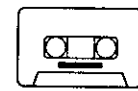
ワンタッチでディスクを録音するには…CDシンクロ録音

1 ディスクとテープをセットする。

コンパクトディスク

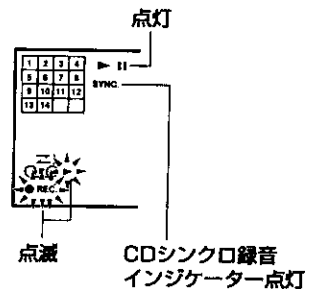
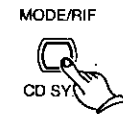


テープ



- 入力切替を「CD」にします。入力切替が「CD」以外ですとCDシンクロ録音を開始することができません。
- ディスク、テープとも停止していることを確認してください。
- テープ走行モードを選びます。録音は常にフォワード(▶)側から始まりますのでテープの向きに注意してください。

2 CDシンクロ録音を始める。



リーダーテープ部を送るため約7秒間テープを無録音状態で送った後、ディスクの演奏とテープの録音が同時に始まります。

オートバックレック機能について

CDシンクロ録音をしているときにはたらく機能です。往復録音中にテープのA(表)面のテープエンドで曲が途切れた場合は、その曲をテープのB(裏)面の頭から録音しなおします。

CDシンクロ録音を止めるには



停止ボタンを押します。ディスクも同時に停止します。(CDシンクロ録音停止)

このような場合もCDシンクロ録音は停止します

- テープの録音が先に終わると、CDの演奏は自動的に停止します。
- ディスクの演奏が先に終わると、テープの録音も自動的に停止します。

CDシンクロ録音時の付加機能

CDシンクロ録音を行なうとき、次の機能をはたらかせることができます。設定は録音を始める前に行なってください。

- プログラム演奏 29ページ **1** ~ **7** の操作
- ダイレクト演奏 27ページ **1** ~ **3** の操作

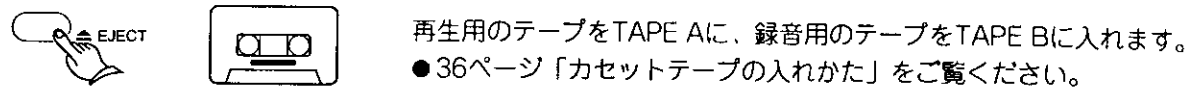
CDシンクロ録音時のご注意

- マイクロホンが接続してあるとマイクの音もミキシングして録音します。ディスクの音だけを録音するとき、マイクロホンのプラグを抜いてください。
- ディスクをセットしなかったり、トレイを出したままでCDシンクロ録音を始めることはできません。またディスクの演奏中、一時停止状態のときも同様です。
- CDシンクロ録音を始めるときは、必ず入力切替を「CD」にしてください。「CD」以外ですとCDシンクロ録音を始めることはできません。またテープも停止状態以外ではCDシンクロ録音を始めることはできません。
- CDシンクロ録音中は入力を「CD」以外に切り換えることはできません。
- CDシンクロ録音中に操作できるボタンは次のボタンだけです。停止/取消しボタン(■)、テープ走行モードボタン、クロックボタン、ディスクトレイオープン/クローズボタン、タイマーボタン

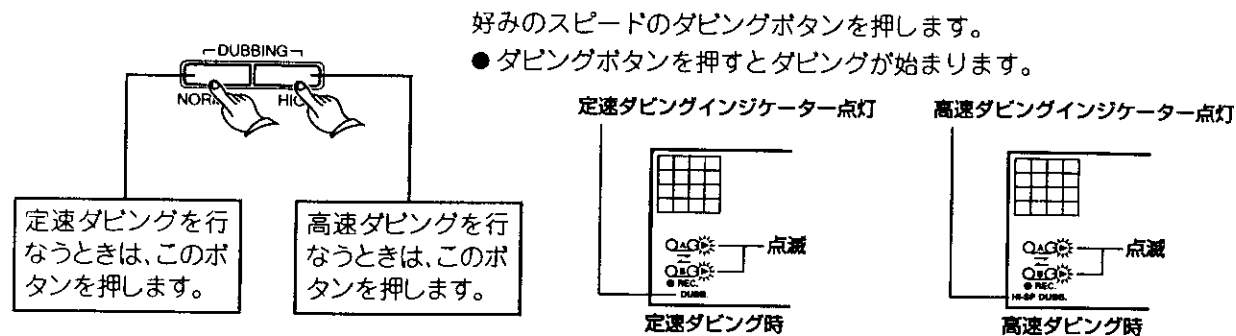
ダビングのしかた

TAPE AからTAPE Bへダビングします。
高速ダビングにした場合は、通常の約半分の時間でダビングをすることができます。

1 入力切換を「TAPE」にし、TAPE Aに再生用、TAPE Bに録音用テープを入れる。

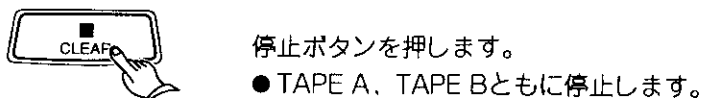


2 ダビングスピードを選びダビングを始める。



- 走行時間の同じテープを使ってダビングすることをおすすめします。
- 「(二)」、「(三)」モードのフォワード録音で、TAPE A（再生側のフォワード再生）が先に終わると、TAPE Bはそのままフォワード無録音を続け、TAPE BのテープエンドでTAPE B、TAPE Aともに反転し、リバース録音が始まります。
- 「(二)」、「(三)」モードのフォワード録音で、TAPE B（録音側のフォワード録音）が先に終わると、TAPE Bは録音一時停止状態となり、TAPE Aのフォワード再生終了後、TAPE A、TAPE Bともに反転し、リバース録音が始まります。
- 「(二)」モードの録音で、TAPE A（再生側）が先に終わると、TAPE Bはそのまま無録音を続けますのでご注意ください。
- 「(二)」モードの録音で、TAPE B（録音側）が先に終わると、TAPE Aも停止します。

ダビングを停止するには



ダビング時のご注意

- ダビングはTAPE A、TAPE Bともに、フォワード方向から始まります。再生用テープ、録音用テープの向きに注意してください。
- ダビング中は入力切換を「TAPE」以外に切り換えることはできません。
- ダビングの回数を重ねると、徐々に音質が悪くなることがあります。ダビングするときは新しいテープを使用すると音質の低下が少なくなります。
- 走行時間の異なるテープをTAPE A、TAPE Bに使用するとき、再生・録音時間を確かめてダビングを行なってください。

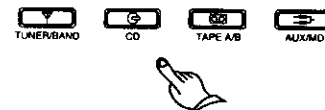
マイクミキシング

マイクミキシングのしかた

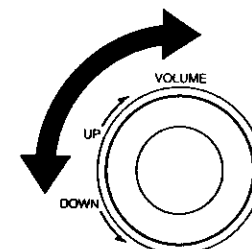
1 マイクを接続する。



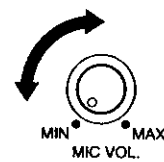
2 ミキシングするソースを選ぶ。



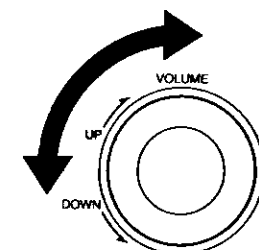
3 ソースの音量を調節する。



4 マイクの音量を調節する。



5 全体の音量を調節する。



6 マイクミキシングを始める。



ご注意

- マイクミキシングのとき以外はマイクをマイク端子より取り外して、マイクレベル調節つまみは最小の位置にしておいてください。
- インピーダンス200Ω～600Ωのマイクを使用してください。
- 音量をあまり大きくしたり、マイクをスピーカーに近づけたりすると、ハウリング（ピーという音）を起こします。
そのときには、
1. マイクの向きを変えるか、スピーカーからなるべく離す。
2. 単一指向性のマイク（まわりの音が入りにくいマイク）を使用する。

マイクミキシング

マイクミキシング録音のしかた

<p>1 準備。</p> <p style="text-align: center;">45 ページ</p> <p>「マイクミキシングのしかた」にしたがって一度マイクミキシングをしてみます。</p>	<p>2 マイクミキシング録音開始。</p> <p style="text-align: center;">41 ページ</p> <p>「録音してみましょう」の 3 ~ 6 にしたがって録音を開始し、同時にマイクミキシングを始めます。</p>
--	--

ご注意

テープとのマイクミキシング録音はできません。

タイマー予約をする前に

- タイマー機能は予約した時刻に自動的に再生または録音を始めることができます。タイマーは動作後もタイマーの内容を記憶していますので、毎日同じ時刻に動作します。
- タイマーは電源ON/OFFに関係なく設定できます。
- タイマー動作中はタイマー設定はできません。
- タイマー予約した時刻に電源が入った状態にしているとタイマーは動作しません。
- タイマー予約は、現在時刻がセットされていないと設定できません。また現在時刻が正しいことを確認してください。(16ページ「現在時刻の合わせかた」参照)
- タイマー予約は再生または録音のどちらか1回だけです。

タイマー再生のしかた

■たとえばタイマー再生開始時刻をAM(午前)7時20分、終了時刻をAM(午前)8時15分に合わせるには

<p>1 準備。</p> <p>タイマー再生したいソースをセットしておきます。</p> <p>CD ディスクトレイにディスクをセットしておきます。CDをタイマー再生のソースにした場合は、自動的にオールディスクリピートモード(31ページ参照)になります。</p> <p>TAPE カセットホルダーにテープをセットしておきます。テープをタイマー再生のソースにした場合は、自動的にテープ走行モードはエンドレスモード() となります。また、TAPE A、TAPE B共にテープがセットされている時はTAPE Aが優先されます。</p> <p>TUNER 放送局をプリセットしておいてください。(「プリセットのしかた」34ページ参照)</p> <p>AUX AUX(補助入力)をタイマー再生、録音のソースにした場合は、AUX(補助入力)端子に接続した機器もタイマーの準備が必要となりますのでご注意ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● タイマー再生をCDまたはTAPEに設定した場合で、ディスクまたはテープがセットされていない場合は自動的にTUNERのタイマー再生となります。 ● イコライザーパターンなどの音質調節機能は事前に合わせておいてください。
--	---

<p>2 タイマー設定モードにする。</p> <p>タイマーボタンを1秒以上押し続けます。</p>	<p style="text-align: center;">ディスプレイがタイマーモードのソースを約3秒間順に表示します。</p>
--	--

その他

3 タイマー再生のソースを選ぶ。

47ページの手順 2 で希望のタイマー再生のソースが点滅しているときにセットボタンを押します。

(例) TUNERをタイマー再生のソースとしたとき

- 「TUNER」 が点滅中にセットボタンを押します。

約3秒間
交互にくり返し表示します。

ディスプレイがタイマー再生、タイマー録音のモードを上図のように交互にくり返し表示しますので、タイマー再生のモードが点滅中にセットボタンを押します。

プリセット番号が点滅しますのでタイマー再生したい希望のプリセット番号を選びます。

プリセット番号3の放送局をタイマー再生のソースに設定した場合

「ON」表示が点灯し、「時」表示が点滅します。この状態からタイマー再生時刻合わせを始めます。

- タイマー再生のソースを「CD」「TAPE」にした場合は、自動的にタイマー再生開始時刻合わせモードになります。(「CD」「TAPE」の場合はタイマー再生のみです。)
- タイマー再生のソースを「AUX」にした場合は、タイマー再生モードを設定するとタイマー再生開始時刻合わせモードになります。
- 「REC」が点滅中に押すと、タイマー録音モードになります。(50ページ「タイマー録音のしかた」をご覧ください。)

4 タイマー再生開始時刻合わせをする。

- 「時」を合わせる

「◀」または「▶」ボタンを押して、AM(午前)7時に合わせます。

セットボタンを押して、AM(午前)7時を設定します。「時」の設定が終わると次に「分」表示が点滅しますので「分」の設定を始めます。

- 「分」を合わせる

「◀」または「▶」ボタンを押して、20分に合わせます。

セットボタンを押して、20分を設定すると、ディスプレイにOFF表示が点灯し、「時」表示が点滅しますので次にタイマー終了時刻合わせを始めます。

5 タイマー再生終了時刻合わせをする。

- 「時」を合わせる

「◀」または「▶」ボタンを押して、AM(午前)8時に合わせます。

セットボタンを押して、AM(午前)8時を設定します。「時」の設定が終わると次に「分」表示が点滅しますので「分」の設定を始めます。

- 「分」を合わせる

「◀」または「▶」ボタンを押して、15分に合わせた後、セットボタンを押します。

6 音量を設定する。

音量を25に決定した場合

音量を決定した後、セットボタンを押します。

7 タイマー設定内容を表示。

タイマー再生をするソース、タイマー再生、開始、終了時刻、音量を表示後、タイマー再生時刻合わせをする前の状態に戻ります。

8 タイマー再生待機状態にする。

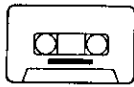
電源を切ります。

- 必ず電源を切り、タイマー再生インジケータ(①)を点灯させてください。消えている場合はタイマーボタンを押して点灯させてください。

タイマー録音のしかた

タイマー録音できるのは「TUNER」、「AUX」だけです。

1 録音準備。



録音するテープをTAPE Bにセットします。
41ページ「録音して見ましょう」の 3 ~ 4 の操作をします。

2 タイマー設定モードにする。

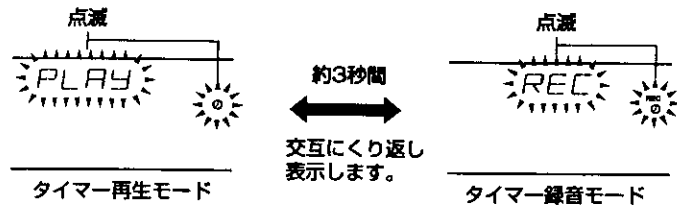
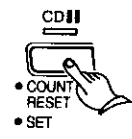
47ページ「タイマー再生のしかた」の 2 にならって、タイマー設定モードにします。

3 タイマー録音のソースを選ぶ。

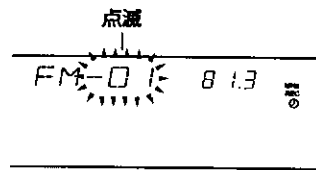
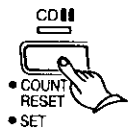
上記手順 2 でタイマー録音のソース(「TUNER」、「AUX」のみ)が点滅しているときにセットボタンを押します。

(例) TUNERをタイマー録音のソースとしたとき

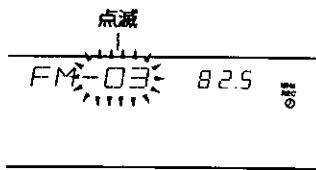
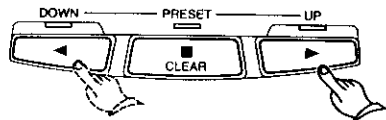
- 「TUNER」が点滅中にセットボタンを押します。



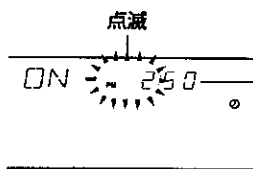
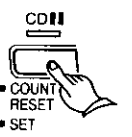
ディスプレイがタイマー再生、タイマー録音のモードを上図のように交互にくり返し表示しますので、タイマー録音のモードが点滅中にセットボタンを押します。



プリセット番号が点滅しますのでタイマー録音したい希望のプリセット番号を選びます。



プリセット番号3の放送局をタイマー録音のソースに設定した場合



「ON」表示が点灯減し、「時」表示が点滅します。この状態からタイマー録音時刻合わせを始めます。

- 「PLAY」が点滅中に押すと、タイマー再生モードになります。(47~49ページ「タイマー再生のしかた」をご覧ください。)

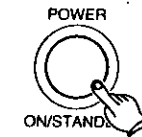
4 タイマー録音開始、終了時刻および音量を設定する。

48、49ページ「タイマー再生のしかた」の 4 ~ 6 にならってタイマー録音開始、終了時刻および音量を設定します。

5 タイマー設定内容を表示。

タイマー録音するソース、タイマー録音、開始、終了時刻、音量を表示後、タイマー録音時刻合わせをする前の状態に戻ります。

6 タイマー録音待機状態にする。



電源を切ります。

- 必ず電源を切りタイマー録音インジケータ(⓪REC)を点灯させてください。
- 消えている場合はタイマーボタンを押して点灯させてください。

タイマー録音時のご注意

- タイマー録音状態のままにしておくと、次の日の同じ時刻に再びタイマー録音を始めますので、タイマー録音をしないときは、タイマーボタンを押して、タイマー録音インジケータ(⓪REC)を消しておいてください。
- 留守録(そばに人がいないで録音するとき)では、音量は最小にしてご使用ください。
- タイマー録音中に録音を中止しても、タイマー動作は続けられます。その場合動作はタイマー再生と同じになります。

故障かな?と考える前に

正常に動作しない場合は、下表により点検してみてください。それでも具合が悪い場合は、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご連絡ください。なおアフターサービスについては57ページをご覧ください。

症状	原因と思われるところ	適切な処置	
放送テープ・CDのとき	電源がONしない。	1. 電源コードがコンセントに確実に接続されていない。	1. 確実に接続してください。
	スピーカーから音が出ない。	1. 音量調節つまみが最小になっている。 2. ヘッドホンが接続されている。 3. スピーカーコードの接続が不完全。 4. MUTE (消音) 状態になっている。	1. つまみを調節する。 2. ヘッドホンのプラグをはずす。 3. 正しく接続する。(9ページ「接続のしかた」参照) 4. MUTE (消音) を解除する。(20ページ「音を一時的に消すには」参照)
ボタンを操作するとき	ボタンを押しても正常に動作しない	1. 静電気などにより、内蔵のマイクロコンピュータが誤動作したことが考えられます。	1. ディスクやテープの場合は、停止ボタンを押してもう一度再生し直してください。または電源スイッチを一旦切ってから再度入れてみてください。
F M放送のとき	"シャー"という音が出る。とくにステレオ受信時にめだつ。	1. アンテナの入力電波が弱い。	1. FM簡易室内アンテナを使用しているときは、FM屋外アンテナを設置してください。
A M放送のとき	"ジー"という音が出る。とくに夜間や電波の弱い局ほど大きい。	1. セットの近くにある電気器具 (テレビ・蛍光灯など) の影響を受けている。	1. 電気器具の電源を切ると、雑音が消えるときは、その器具とセットを離してください。
	"ブーン"という音 (同調ハム) が出る。		1. 電源プラグの差し込みを逆にすれば直ることもあります。
カセットデッキのとき	テープが回らない。	1. カセットテープが確実にセットされていない。 2. 結露している。(7ページ「結露について」参照)	1. 確実にセットしてください。 2. 1~2時間くらい待ってから使用してください。
	音が出ない。	1. ヘッドが汚れている。 2. TAPE A/TAPE Bの切り換えが合っていない。	1. ヘッドの清掃および消磁を行ってください。 2. テープの切り換えを合わせる。(38ページ参照)
	音がふるえたり、途切れたりする。	1. カセットテープが段巻きになっている。 2. テープがいたんでいる。 3. テープ走行面(ヘッド・キャプスタン・ピンチローラー)が汚れている。	1. 早送り、巻戻しをして巻き直してください。(37ページ「テープが滑らかに走行しないときは」参照) 2. テープを交換してください。 3. 清掃を行ってください。
	音質が悪い。音がひずむ。雑音が多い。	1. ヘッドが汚れている。 2. 傷・伸び・ねじれなどを起こしている不良テープを使用している。 3. ハイポジションテープ (TYPE II) またはメタルテープ (TYPE IV) を使用している。	1. ヘッドの清掃および消磁を行ってください。 2. テープを交換してください。 3. ノーマルテープ (TYPE I) に交換してください。

故障かな?と考える前に

症状	原因と思われるところ	適切な処置	
カセットデッキのとき	録音または消去ができない。	1. カセットテープのつめが折れている。 2. ヘッドが汚れている。 3. 傷・伸び・ねじれなどを起こしている不良テープを使用している。 4. メタルテープ (TYPE IV) を使用している。	1. セロハンテープなどで穴をふさいでください。 2. 清掃を行ってください。 3. テープを交換してください。 4. ノーマルテープ (TYPE I) に交換してください。[メタルテープ (TYPE IV) は録音、消去はできません。]
	雑音が多い。	1. ヘッドが汚れている。 2. 電気毛布、照明用の調光器などを近くで使用している。	1. ヘッドの清掃および消磁を行ってください。 2. 影響を受けている電気器具の電源を切るか、離してください。
CD演奏のとき	音が出ない。	1. ディスクが裏返しになっている。 2. ディスクが汚れている。 3. 規格外のディスクを使用している。	1. ディスクを入れなおしてください。 2. ディスクの表面をきれいにふいてください。 3. ディスクを交換してみてください。
	演奏ボタンを押しても演奏しない。	1. ディスクが汚れている。 2. ディスクに傷がある。反っている。	1. ディスクの表面をきれいにふいてください。 2. ディスクを交換してください。
	音がひずむ。	1. 音量を大きくしすぎている。	1. 音量をしぼってください。
	ディスクの特定の場所が正常に演奏できない。音が途切れる。同じ場所をくり返す。	1. ディスクに傷などの欠陥がある。 2. ディスクが汚れている。	1. 「▶▶▶▶」ボタンを押し続けて傷のある場所をとばしてください。 2. ディスクの表面をきれいにふいてください。

本システムはマイコンを使った精密機器です。電磁雑音の大きいところでの使用は避けてください。このような所で使用すると、不具合な動作をすることがありますが、故障ではありません。万一、不具合な動作が発生した場合には、もう一度希望する操作をおこなってください。



■チューナー部

FMチューナー部

受信周波数帯域 76.0MHz~90.0MHz (0.1MHzステップ)
IHF実用感度MONO 3.5 μ V/75 Ω

AMチューナー部

受信周波数帯域 522kHz~1611kHz (9kHzステップ)
実用感度 700 μ V/m (ループアンテナ)

■カセットデッキ部

トラック方式 4トラック・2チャンネルステレオ
ヘッド 録音/再生ヘッド×1
交流消去ヘッド×1
再生ヘッド×1

周波数特性 (-20dB録音時)

ノーマルテープ (TYPE I) 60Hz~14,000Hz

■アンプ部

実用最大出力 (EIAJ)

1kHz、10%、6 Ω 30W+30W

入力端子 補助入力(AUX)USピンジャック
: 250mV (50k Ω)

マイク入力 (ミニジャック)

: 適合インピーダンス200~600 Ω

出力端子 CD光デジタル出力端子

スピーカー端子

: 適合インピーダンス6 Ω

ヘッドホン端子(ステレオ標準ジャック)

: 適合インピーダンス8~100 Ω

■タイマー部

方式 デジタルクォーツクロック

表示方法 AM/PM12時間式/24時間式

タイマー精度 月差60秒以内

■CDプレーヤー部

使用ディスク コンパクトディスク (12cm, 8cm)

周波数特性 20Hz~20kHz

チャンネル数 2チャンネル (ステレオ)

■電源部・その他

電源 AC100V、50/60Hz

消費電力 60W

外形寸法 272 (幅) × 326 (高さ) × 335 (奥行) mm

質量 (重量) 8.7kg

■スピーカー部

型式 3ウェイスピーカーバスレフ方式

使用スピーカー

ウーファー(低音用) 16.5cmコーン型

トゥイーター(高音用) 8cmコーン型

スーパートゥイーター(超高音用) 2cmdーム型

インピーダンス 6 Ω (EIAJ)

最大入力 55W (音楽信号ピーク)

外形寸法 210 (幅) × 325 (高さ) × 290 (奥行) mm

質量 (重量) 5.2kg/1本

■付属品

保証書 1

取扱説明書 1

ご相談窓口一覧表 1

FM簡易アンテナ 1

AMループアンテナ 1

リモートコントロールユニット (RB-AXC60) 1

リモコン用単4形乾電池R03 (SUM-4) 2

●仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■保証について

●この製品は保証書付きです。

保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間について

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

① 形名: AX-C60

② 症状: できるだけ詳しく

③ 道順: 付近の目印も

■転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

■アフターサービスなどでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店が別紙(黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

著作権について

あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物(ミュージックテープなど)の作品も同じように著作権法により保護されています。従って音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したテープなどの使用には一定の制限があります。

- したがって、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部におたずねください。

社団法人 日本音楽著作権協会 (JASRAC) 〒105 東京都港区西新橋1-7-13 TEL (03) 3502-6551 (大代表) FAX (03) 3508-8183

- 北海道支部 (業務地域 北海道)
〒060 札幌市中央区北1条西3-2 大和銀行札幌ビル
TEL (011) 221-5088 (代表) FAX (011) 221-1311
- 盛岡支部 (業務地域 岩手・青森・秋田)
〒020 盛岡市盛岡駅前通15-20 ニッセイ盛岡駅前ビル
TEL (019) 652-3201 (代表) FAX (019) 652-4010
- 仙台支部 (業務地域 宮城・山形・福島)
〒980 仙台市青葉区中央2-1-7 仙台三和ビル
TEL (022) 264-2266 (代表) FAX (022) 265-2706
- 長野支部 (業務地域 長野)
〒380 長野市南千歳2-12-1 日本団体生命長野ビル
TEL (026) 225-7111 (代表) FAX (026) 223-4767
- 大宮支部 (業務地域 埼玉・栃木・群馬・新潟)
〒331 大宮市桜木町1-7-5 ソニックシティビル
TEL (048) 643-5461 (代表) FAX (048) 643-3567
- 上野支部 (業務地域 東京都23区の城東地区・茨城)
〒110 東京都台東区上野2-7-13 交通公社・安田火災上野共同ビル
TEL (03) 3832-1033 (代表) FAX (03) 3832-1040
- 東京支部 (業務地域 東京都23区の東部・千葉)
〒104 東京都中央区銀座1-15-6 共同ビル銀座1丁目
TEL (03) 3562-4455 (代表) FAX (03) 3562-4457
- 西東京支部 (業務地域 東京都23区の西部)
〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL (03) 3232-8301 (代表) FAX (03) 3232-7798
- 東京イベント・コンサート支部 (業務地域 東京都・千葉・茨城・山梨)
※コンサートや、イベント等における演奏・上映等
〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL (03) 5286-1671 (代表) FAX (03) 5286-1670
- 立川支部 (業務地域 東京都の市・郡部・山梨)
〒190 立川市曙町2-22-20 立川センタービル
TEL (0425) 29-1500 (代表) FAX (0425) 29-1515
- 横浜支部 (業務地域 神奈川県)
〒231 横浜市中区本町1-3 綜通横浜ビル
TEL (045) 662-6551 (代表) FAX (045) 662-6548
- 静岡支部 (業務地域 静岡県)
〒420 静岡市御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル
TEL (054) 254-2621 (代表) FAX (054) 254-0285
- 中部支部 (業務地域 愛知・岐阜・三重)
〒450 名古屋市中村区名駅2-45-7 松岡ビル
TEL (052) 583-7590 (代表) FAX (052) 583-7594
- 北陸支部 (業務地域 石川・富山・福井)
〒920 金沢市香林坊2-3-25 金沢日産生命ビル
TEL (0762) 21-3602 (代表) FAX (0762) 21-6109
- 京都支部 (業務地域 京都・滋賀・奈良)
〒600 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビル
TEL (075) 251-0134 (代表) FAX (075) 251-0414
- 大阪支部 (業務地域 大阪南部・和歌山)
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-0351 (代表) FAX (06) 244-1970
- 大阪北支部 (業務地域 大阪北部)
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-7077 (代表) FAX (06) 244-1970
- 神戸支部 (業務地域 兵庫)
〒650 神戸市中央区海岸通6番地 建隆ビルII
TEL (078) 322-0561 (代表) FAX (078) 322-0975
- 中国支部 (業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根)
〒730 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル
TEL (082) 249-6362 (代表) FAX (082) 246-4396
- 四国支部 (業務地域 香川・徳島・高知・愛媛)
〒760 高松市寿町2-2-10 住友生命高松寿町ビル
TEL (0878) 21-9191 (代表) FAX (0878) 22-5083
- 九州支部 (業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本)
〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル
TEL (092) 441-2285 (代表) FAX (092) 441-4218
- 鹿児島支部 (業務地域 鹿児島・宮崎)
〒892 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル
TEL (099) 224-6211 (代表) FAX (099) 224-6106
- 那覇支部 (業務地域 沖縄)
〒900 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル
TEL (098) 863-1228 (代表) FAX (098) 866-5074

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....